

「第23回 香川県の地価と不動産取引等の
動向に関するアンケート調査」について

～香川県不動産市況DI調査～

(基準日：令和4年10月1日)

令和4年12月

公益社団法人 香川県宅地建物取引業協会

公益社団法人 香川県不動産鑑定士協会

後 援 香 川 県

「第 23 回 香川県の地価と不動産取引等の
動向に関するアンケート調査」について

～ 香川県不動産市況DI調査（基準日：令和4年10月1日）～

目 次

調査結果の概要（県全体のD I 指数）	1
アンケート調査の集計結果.....	4
I アンケート調査の概要	4
II 回答者の主な営業地域	4
III アンケート集計結果.....	5
1 地価の動向.....	5
① 全県の集計結果.....	5
② 地域別の集計結果	7
※地域別の地価動向（構成比）の推移	11
※地価動向D I 指標の推移（区分別総括）	18
※地価動向D I 指標の推移（地域別、予想値含）	19
2 不動産取引（取り扱い件数）の動向	23
① 全県の集計結果.....	23
② 地域別の集計結果	25
※取引動向D I 指標の推移（区分別総括）	31
3 賃貸市場の動向	33
① 全県の集計結果.....	33
② 地域別の集計結果	35
※賃貸市場D I 指標の推移（区分別総括）	43
アンケート調査表.....	45

【調査結果の概要(県全体のDI指数)】

この調査は、不動産市況に関する所定の項目について、半年前と比較した現在の実感と、現在と比較した半年後の予想を、公益社団法人香川県宅地建物取引業協会会員である不動産業者あてにアンケート調査(DI調査)したものである。同調査は平成23年10月から年2回(基準日:4月1日及び10月1日)実施しており、今回はその第23回目で、令和4年10月1日を基準日とする標記アンケート調査を実施し、その集計結果を以下に取りまとめた。

1.地価の動向(県全体のDI指数)について(5～22頁参照)

「住宅地」については、1年前の実感値(R3.4.1時点と比較したR3.10.1時点の実感値、以下同じ。)は $\Delta 21.5$ ポイント、半年前の実感値(R3.10.1時点と比較したR4.4.1時点の実感値、以下同じ。)は $\Delta 12.5$ ポイントであったのに対し、現在の実感値(R4.4.1時点と比較したR4.10.1現在の実感値、以下同じ。)は $\Delta 10.9$ ポイントで、やや改善傾向を示している。また、前回調査(R4.4.1)において半年後は $\Delta 13.0$ ポイントとほぼ横ばい傾向で予想されたのに対し、実感値は $\Delta 10.9$ ポイントと、予想よりもやや改善したことを示した。一方、半年後の予想値(R4.10.1時点と比較したR5.4.1時点の予想値、以下同じ。)は $\Delta 12.3$ ポイントで、若干悪化傾向にあるものと予想されている。

「商業地」については、1年前の実感値は $\Delta 26.2$ ポイント、半年前の実感値は $\Delta 15.9$ ポイントであったのに対し、現在の実感値は $\Delta 8.6$ ポイントとなっており、「住宅地」以上に改善傾向を示している。また、前回調査において半年後は $\Delta 13.1$ ポイントと予想されたのに対し、実感値 $\Delta 8.6$ ポイントと予想よりも改善した事が認められた。また、半年後の予想値は $\Delta 9.3$ ポイントと、ほぼ横ばい傾向にあるものと予想されている。

地価動向DI指数で、住宅地と商業地を比較すると、半年前の実感値では住宅地では $\Delta 12.5$ ポイント、商業地では $\Delta 15.9$ ポイントと商業地が住宅地をマイナス傾向で上回る結果を示していたが、現在の実感値においては住宅地が $\Delta 10.9$ ポイント、商業地が $\Delta 8.6$ ポイントと住宅地が商業地をマイナス傾向で上回る結果を示している。なお、半年後予想値においても、住宅地が $\Delta 12.3$ ポイント、商業地が $\Delta 9.3$ ポイントと住宅地が商業地をマイナス傾向で上回る結果を示している。

2.不動産取引の動向(県全体のDI指数)について(23～32頁参照)

「土地・分譲地等」については、1年前の実感値は $\Delta 27.1$ ポイント、半年前の実感値は $\Delta 18.3$ ポイントであったのに対し、現在の実感値は $\Delta 21.3$ ポイント、半年後の予想値は $\Delta 12.9$ ポイントとなった。「減少傾向」が「増加傾向」を上回る状態であり、前回調査から比較してやや悪化傾向を示しており、半年後については、改善していくものと予想されている。

「マンション販売」については、1年前の実感値は△27.2ポイント、半年前の実感値は△21.2ポイントであったのに対し、現在の実感値は△22.8ポイント、半年後の予想値は△19.4ポイントで、「減少傾向」が「増加傾向」を上回っている状態が続いている。前回の実感値で改善傾向を示したものの今回の実感値ではやや悪化傾向を示した。なお、半年後の予想値は若干改善するものと予想されている。

「仲介件数」については、1年前の実感値は△26.2ポイント、半年前の実感値は△16.0ポイントであったのに対し、現在の実感値は△7.5ポイント、半年後の予想値は△9.1ポイントとなった。「減少傾向」が「増加傾向」を上回る状態であるが、こちらも前回調査で大幅に改善傾向を示していたが、今回調査においても改善傾向を示している。なお、半年後予想については、やや悪化するものと予想されている。

前回DI調査(第22回、R4.4.1時点)における各取引の半年後予想値と今回調査の実感値を比較すると、「土地・分譲等」は予想△17.6ポイントに対し実感△21.3ポイントと、予想より悪化した値であり、「マンション販売」については予想△25.3ポイントに対し実感△22.8ポイントとこちらは予想よりやや改善している。また、「仲介件数」も予想△18.4ポイントに対し実感△7.5ポイントと、予想値より大きく改善傾向を示している。

3. 賃貸市場の動向(県全体のDI指数)について(33~44頁参照)

「事務所・店舗」について、「賃料」は、1年前の実感値が△28.9ポイント、半年前の実感値が△27.9ポイントであったのに対し、現在の実感値は△22.2ポイント、半年後の予想値は△22.6ポイントで、やや改善傾向が続いている。半年後については今回調査とほぼ同水準程度で推移すると予想されている。

「事務所・店舗」の「空室率」は、1年前の実感値が△35.4ポイント、半年前の実感値が△27.1ポイントであったのに対し、現在の実感値は△22.0ポイント、半年後の予想値は△25.2ポイントで、改善傾向が続いている。半年後については、今回調査よりもやや悪化傾向で推移するものと予想されている。

「共同住宅」について、「賃料」は、1年前の実感値が△26.1ポイント、半年前の実感値が△23.8ポイントであったのに対し、現在の実感値は△21.1ポイント、半年後の予想値は△23.9ポイントで、改善傾向が続いているが、半年後についてはやや悪化すると予想されている。

「共同住宅」の「空室率」は、1年前の実感値が△29.0ポイント、半年前の実感値が△26.6ポイントに対し、現在の実感値は△21.7ポイント、半年後の予想値は△27.6ポイントで、改善傾向が続いているが、半年後は悪化傾向で推移するものと予想されている。

4.今回調査について

前回調査時点においては、地価動向、不動産取引の動向、賃貸市場の動向すべての項目で改善傾向が見られた。年明けから始まった新型コロナ第6波の中、人々がウィズコロナ時代の生活様式に慣れてきたこともあり、県内景気においても新型コロナの影響が和らぎつつあり、一部持ち直しの動きがみられていることを反映したものである。

今回調査においても、地価動向、賃貸市場の動向においては改善傾向が続いている。特に、地価動向DI指数は、新型コロナが流行し始めた令和2年4月調査以来、久々に商業地が住宅地と比較すると高位となっており、コロナ禍の影響を大きく受けた商業地の回復傾向を示している。

一方で、不動産取引の動向のうち、土地・分譲地等、マンション販売の項目に関しては、建築費高騰や物価上昇の影響を反映し、やや悪化傾向を示している。

新型コロナの影響は以前と比較すると小さくなってきたものの、忍び寄る新型コロナ第8波の影響もいまだ警戒せざるを得ない。また、急速な円安進行及び物価高や金利上昇の可能性等の懸念材料が多くなっている。従って、不動産市場の動向に関しては、先行き不透明な部分も多く、半年後の見通しに関しては横ばい傾向や若干悪化傾向を予測している項目も多いため、これからも注視すべきである。

【DI指数について】

DIとは、Diffusion Index(ディフュージョン・インデックス)の略で、現況や先行きの見通し等についての定性的な判断を指標として集計加工した指数であり、経済指標等において広く活用されている指標である。

本調査のDI指数の算出方法は、各項目について上昇(空室率は減少)から下落(空室率は増加)までの5段階の選択肢を用意し、選択肢毎の回答数を単純集計して次式により算出している。

DI指数= $\{(第1選択肢の回答数+第2選択肢の回答数 \div 2) - (第4選択肢の回答数 \div 2 + 第5選択肢の回答数)\} \div 回答者数 \times 100$

全体としてDI指数が0より上なら上昇等、0より下なら下落等と判断していることになり、目安としては、「横ばい」が0、「やや下落(空室率はやや増加)傾向」が△50、「下落(空室率は増加)傾向」が△100となる。

「第23回 香川県の地価と不動産取引等の動向に関するアンケート調査」
(香川県不動産市況DI調査)の集計結果

I アンケート調査の概要

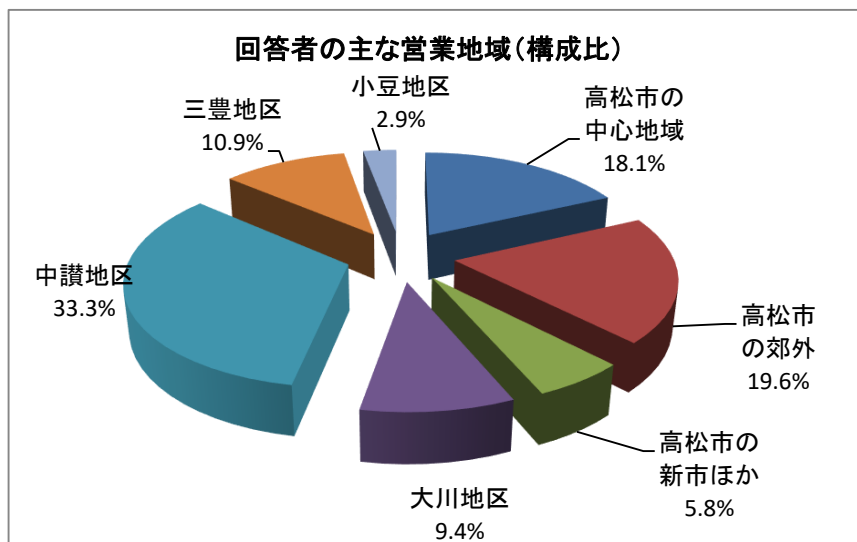
- ① 基準日 令和4年10月1日
- ② 対象者 公益社団法人香川県宅地建物取引業協会の会員
- ③ 発送数 989 社
- ④ 回答数 138 社 (回収率 14.0%)
うち 有効回答票 138 社 無効回答票 0 社

II 回答者の主な営業地域(構成比)

高松市の中心地域	高松市の郊外	高松市の新市ほか	大川地区	中讃地区	三豊地区	小豆地区	計
25	27	8	13	46	15	4	138
18.1%	19.6%	5.8%	9.4%	33.3%	10.9%	2.9%	100%

【地域の区分の定義は次のとおり】

- ・「高松市の中心地域」…高松市の中心部及びその周辺
(東はレインボー通り周辺、西は香東川、南は東バイパスまでの範囲)
- ・「高松市の郊外」…「高松市の中心地域」以外の合併前旧高松市の範囲
- ・「高松市の新市ほか」…高松市のうち新市(旧庵治町、牟礼町、香川町、香南町、塩江町、国分寺町) 及び 三木町、直島町
- ・「大川地区」…東かがわ市、さぬき市
- ・「中讃地区」…丸亀市、坂出市、善通寺市、宇多津町、綾川町、琴平町、多度津町及びまんのう町
- ・「三豊地区」…観音寺市、三豊市
- ・「小豆地区」…土庄町、小豆島町



次頁以降DIグラフ中の「令和4年10月」は令和4年4月1日基準日の半年前と比較した実感のDI指数を表しています。また、「R5.4予想」とあるものは今回調査時点における半年後の予想を集計した値です。なお、地区や設問によっては、回答母数が少ないため極端な変動を示す場合がありますので、ご了承下さい。

Ⅲ アンケート集計結果

1 地価の動向

① 全県の集計結果

問2 現在の地価の動向(半年前と比較して)

(1)住宅地

	上昇 傾向	やや 上昇傾向	横ばい	やや 下落傾向	下落 傾向	計	DI指数
	1	11	86	37	3	138	△ 10.9
(構成比)	0.7 %	8.0 %	62.3 %	26.8 %	2.2 %	100 %	

(2)商業地

	上昇 傾向	やや 上昇傾向	横ばい	やや 下落傾向	下落 傾向	計	DI指数
	0	15	79	31	3	128	△ 8.6
(構成比)	0.0 %	11.7 %	61.7 %	24.2 %	2.3 %	100 %	

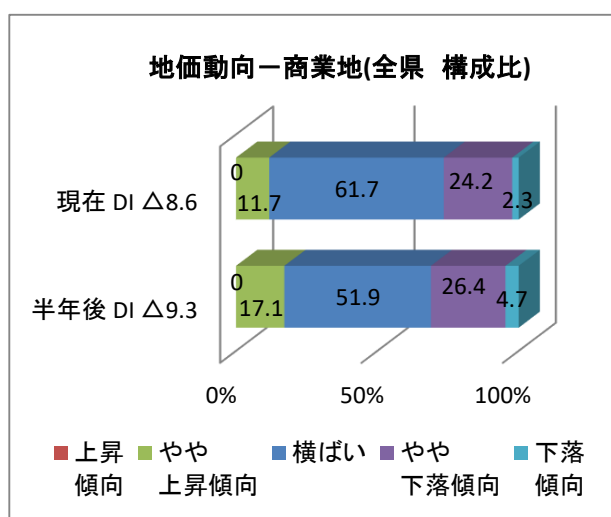
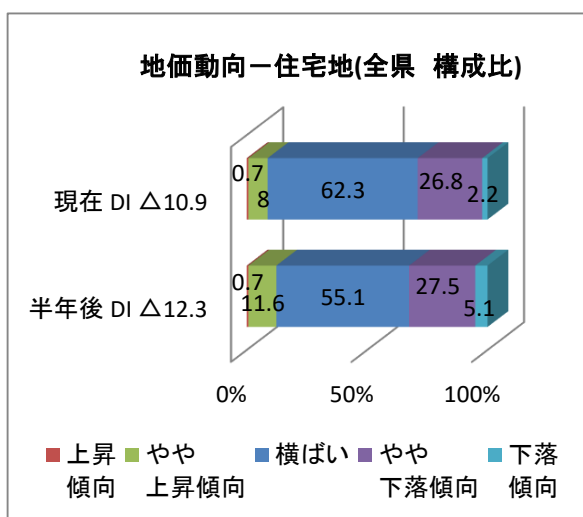
問3 半年後の地価の動向予想(現在と比較して)

(1)住宅地

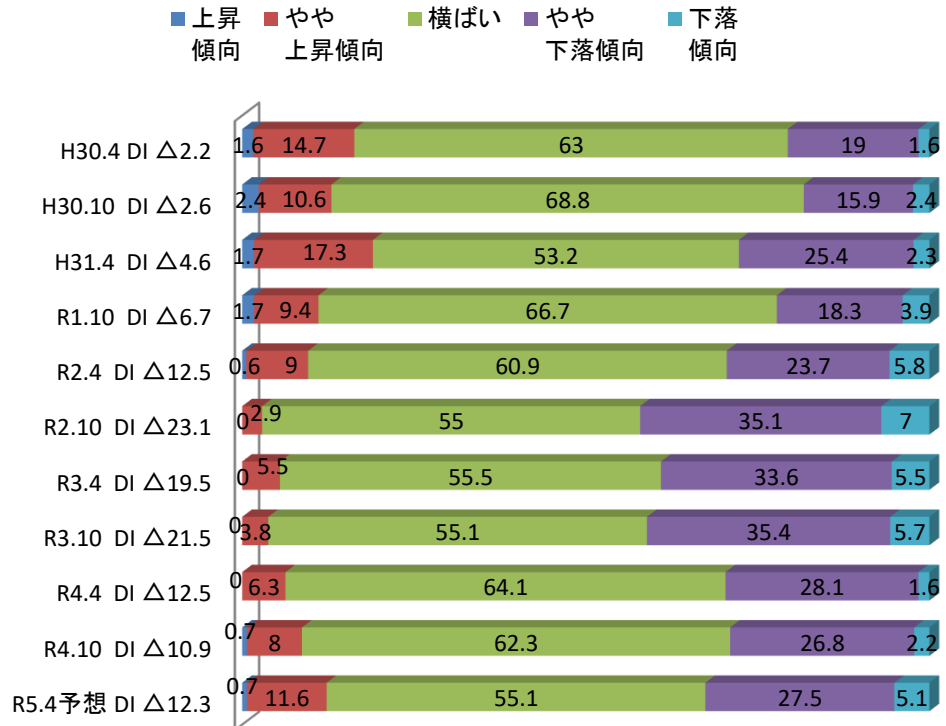
	上昇 傾向	やや 上昇傾向	横ばい	やや 下落傾向	下落 傾向	計	DI指数
	1	16	76	38	7	138	△ 12.3
(構成比)	0.7 %	11.6 %	55.1 %	27.5 %	5.1 %	100 %	

(2)商業地

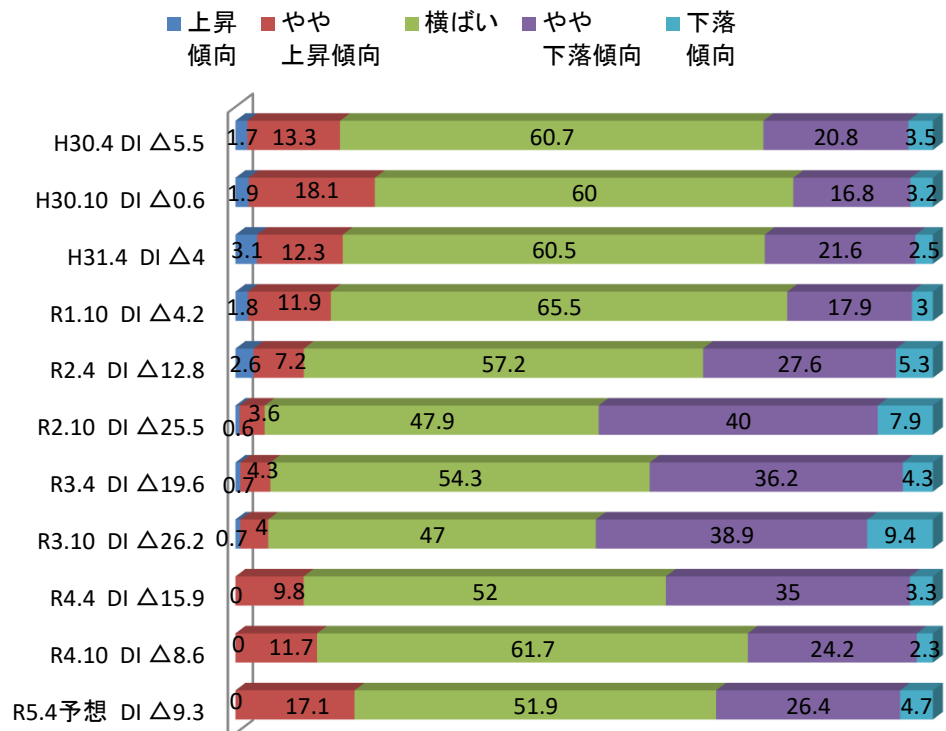
	上昇 傾向	やや 上昇傾向	横ばい	やや 下落傾向	下落 傾向	計	DI指数
	0	22	67	34	6	129	△ 9.3
(構成比)	0.0 %	17.1 %	51.9 %	26.4 %	4.7 %	100 %	



県全体の地価動向・住宅地 構成比の推移



県全体の地価動向・商業地 構成比の推移

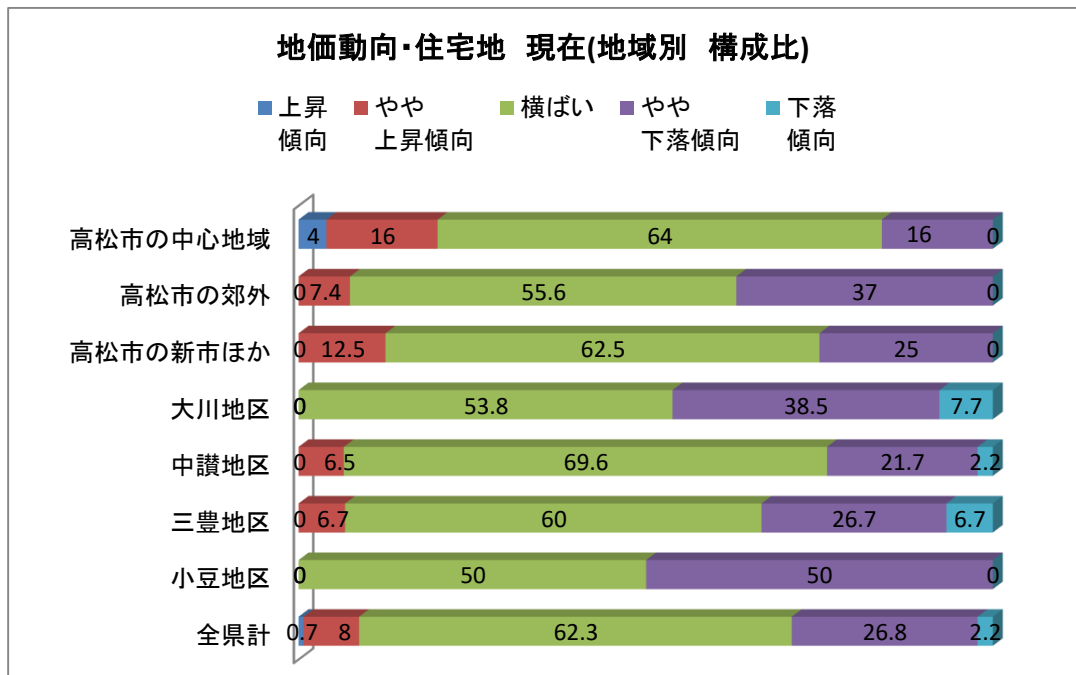


② 地域別の集計結果

問2 現在の地価の動向(半年前と比較して)

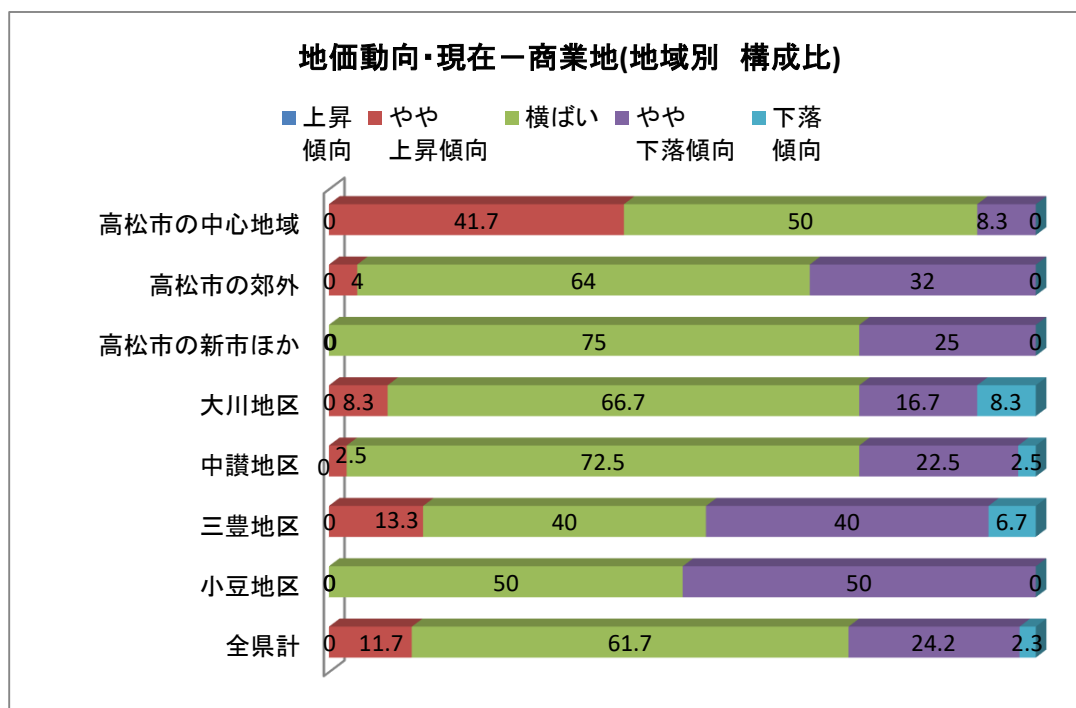
(1)住宅地

	上昇 傾向	やや 上昇傾向	横ばい	やや 下落傾向	下落 傾向	計	DI指数
高松市の中心地域	1	4	16	4	0	25	+ 4.0
	4.0 %	16.0 %	64.0 %	16.0 %	0.0 %	100 %	
高松市の郊外	0	2	15	10	0	27	△ 14.8
	0.0 %	7.4 %	55.6 %	37.0 %	0.0 %	100 %	
高松市の新市ほか	0	1	5	2	0	8	△ 6.3
	0.0 %	12.5 %	62.5 %	25.0 %	0.0 %	100 %	
大川地区	0	0	7	5	1	13	△ 26.9
	0.0 %	0.0 %	53.8 %	38.5 %	7.7 %	100 %	
中讃地区	0	3	32	10	1	46	△ 9.8
	0.0 %	6.5 %	69.6 %	21.7 %	2.2 %	100 %	
三豊地区	0	1	9	4	1	15	△ 16.7
	0.0 %	6.7 %	60.0 %	26.7 %	6.7 %	100 %	
小豆地区	0	0	2	2	0	4	△ 25.0
	0.0 %	0.0 %	50.0 %	50.0 %	0.0 %	100 %	
全県計	1	11	86	37	3	138	△ 10.9
	0.7 %	8.0 %	62.3 %	26.8 %	2.2 %	100 %	



(2)商業地

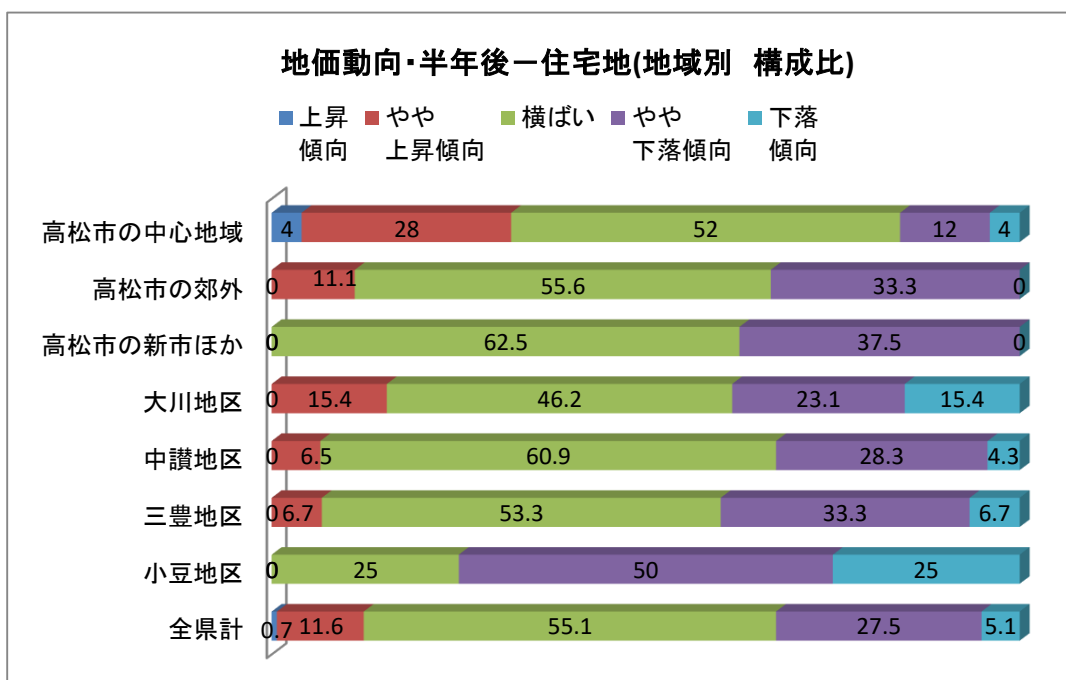
	上昇 傾向	やや 上昇傾向	横ばい	やや 下落傾向	下落 傾向	計	DI指数
高松市の中心地域	0	10	12	2	0	24	+ 16.7
	0.0 %	41.7 %	50.0 %	8.3 %	0.0 %	100 %	
高松市の郊外	0	1	16	8	0	25	△ 14.0
	0.0 %	4.0 %	64.0 %	32.0 %	0.0 %	100 %	
高松市の新市ほか	0	0	6	2	0	8	△ 12.5
	0.0 %	0.0 %	75.0 %	25.0 %	0.0 %	100 %	
大川地区	0	1	8	2	1	12	△ 12.5
	0.0 %	8.3 %	66.7 %	16.7 %	8.3 %	100 %	
中讃地区	0	1	29	9	1	40	△ 12.5
	0.0 %	2.5 %	72.5 %	22.5 %	2.5 %	100 %	
三豊地区	0	2	6	6	1	15	△ 20.0
	0.0 %	13.3 %	40.0 %	40.0 %	6.7 %	100 %	
小豆地区	0	0	2	2	0	4	△ 25.0
	0.0 %	0.0 %	50.0 %	50.0 %	0.0 %	100 %	
全県計	0	15	79	31	3	128	△ 8.6
	0.0 %	11.7 %	61.7 %	24.2 %	2.3 %	100 %	



問3 半年後の地価の動向予想(現在と比較して)

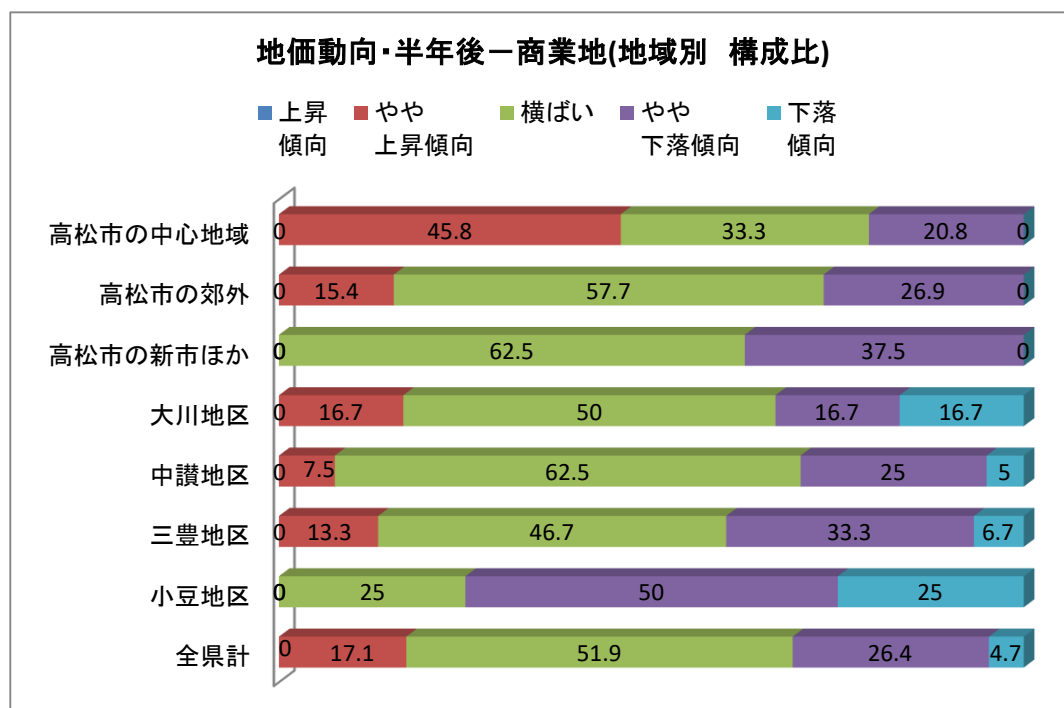
(1)住宅地

	上昇 傾向	やや 上昇傾向	横ばい	やや 下落傾向	下落 傾向	計	DI指数
高松市の中心地域	1	7	13	3	1	25	+ 8.0
	4.0 %	28.0 %	52.0 %	12.0 %	4.0 %	100 %	
高松市の郊外	0	3	15	9	0	27	△ 11.1
	0.0 %	11.1 %	55.6 %	33.3 %	0.0 %	100 %	
高松市の新市ほか	0	0	5	3	0	8	△ 18.8
	0.0 %	0.0 %	62.5 %	37.5 %	0.0 %	100 %	
大川地区	0	2	6	3	2	13	△ 19.2
	0.0 %	15.4 %	46.2 %	23.1 %	15.4 %	100 %	
中讃地区	0	3	28	13	2	46	△ 15.2
	0.0 %	6.5 %	60.9 %	28.3 %	4.3 %	100 %	
三豊地区	0	1	8	5	1	15	△ 20.0
	0.0 %	6.7 %	53.3 %	33.3 %	6.7 %	100 %	
小豆地区	0	0	1	2	1	4	△ 50.0
	0.0 %	0.0 %	25.0 %	50.0 %	25.0 %	100 %	
全県計	1	16	76	38	7	138	△ 12.3
	0.7 %	11.6 %	55.1 %	27.5 %	5.1 %	100 %	

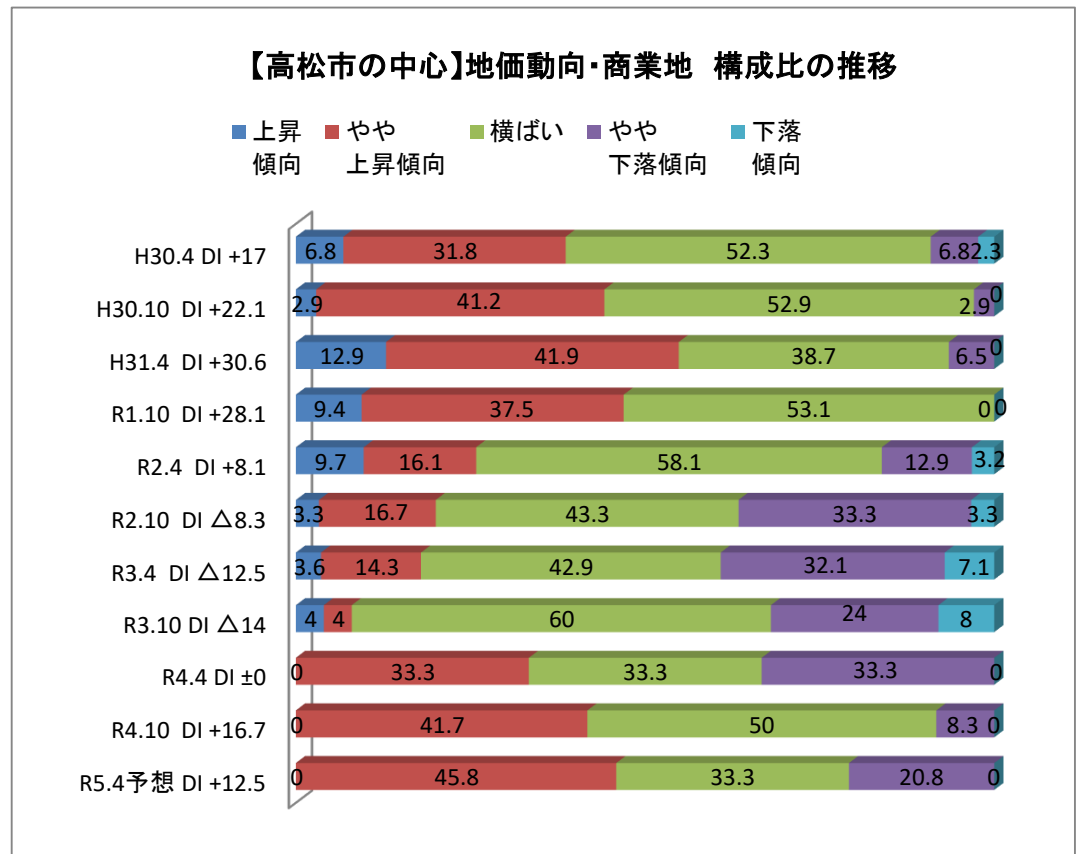
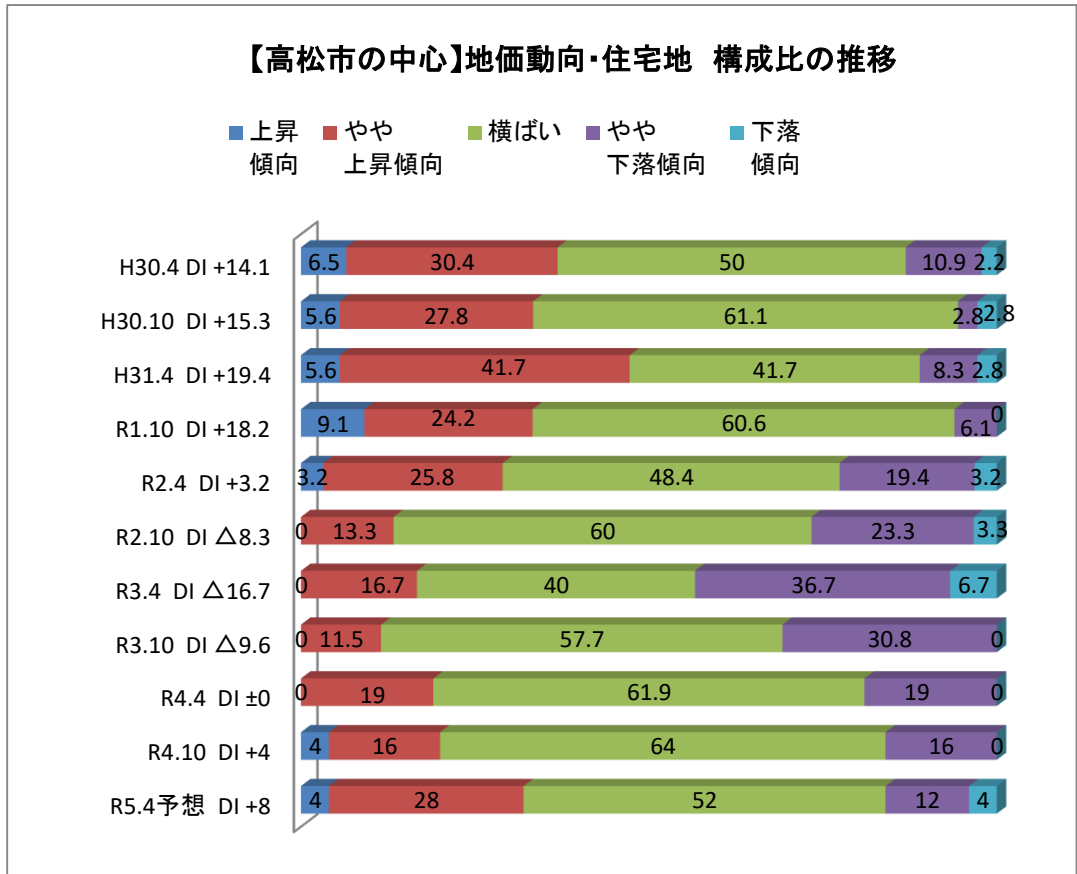


(2)商業地

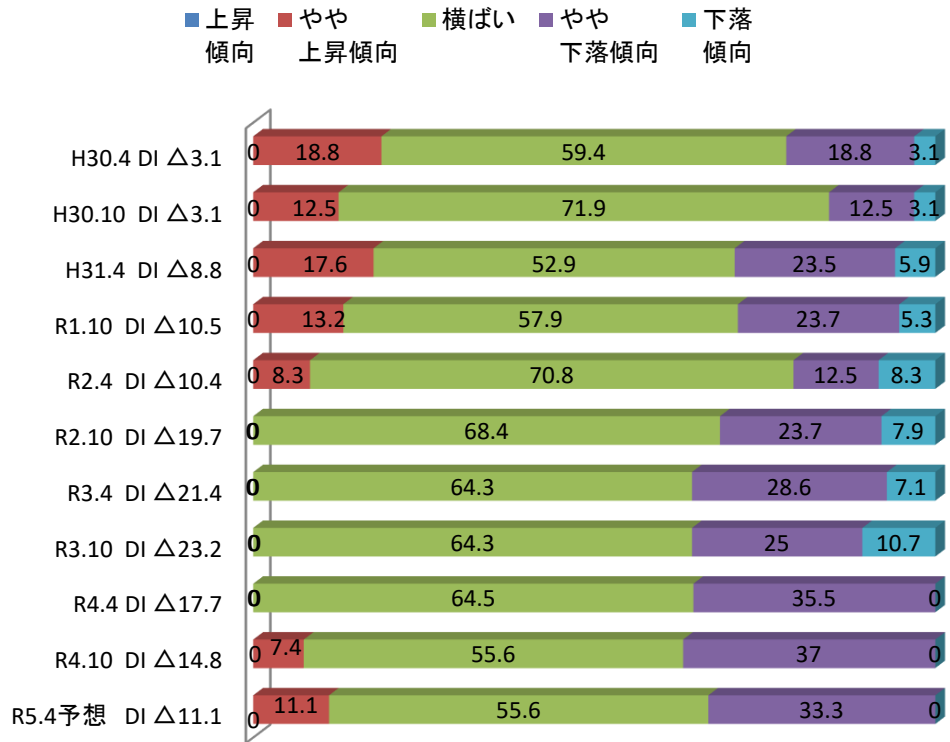
	上昇 傾向	やや 上昇傾向	横ばい	やや 下落傾向	下落 傾向	計	DI指数
高松市の中心地域	0	11	8	5	0	24	+ 12.5
	0.0 %	45.8 %	33.3 %	20.8 %	0.0 %	100 %	
高松市の郊外	0	4	15	7	0	26	△ 5.8
	0.0 %	15.4 %	57.7 %	26.9 %	0.0 %	100 %	
高松市の新市ほか	0	0	5	3	0	8	△ 18.8
	0.0 %	0.0 %	62.5 %	37.5 %	0.0 %	100 %	
大川地区	0	2	6	2	2	12	△ 16.7
	0.0 %	16.7 %	50.0 %	16.7 %	16.7 %	100 %	
中讃地区	0	3	25	10	2	40	△ 13.8
	0.0 %	7.5 %	62.5 %	25.0 %	5.0 %	100 %	
三豊地区	0	2	7	5	1	15	△ 16.7
	0.0 %	13.3 %	46.7 %	33.3 %	6.7 %	100 %	
小豆地区	0	0	1	2	1	4	△ 50.0
	0.0 %	0.0 %	25.0 %	50.0 %	25.0 %	100 %	
全県計	0	22	67	34	6	129	△ 9.3
	0.0 %	17.1 %	51.9 %	26.4 %	4.7 %	100 %	



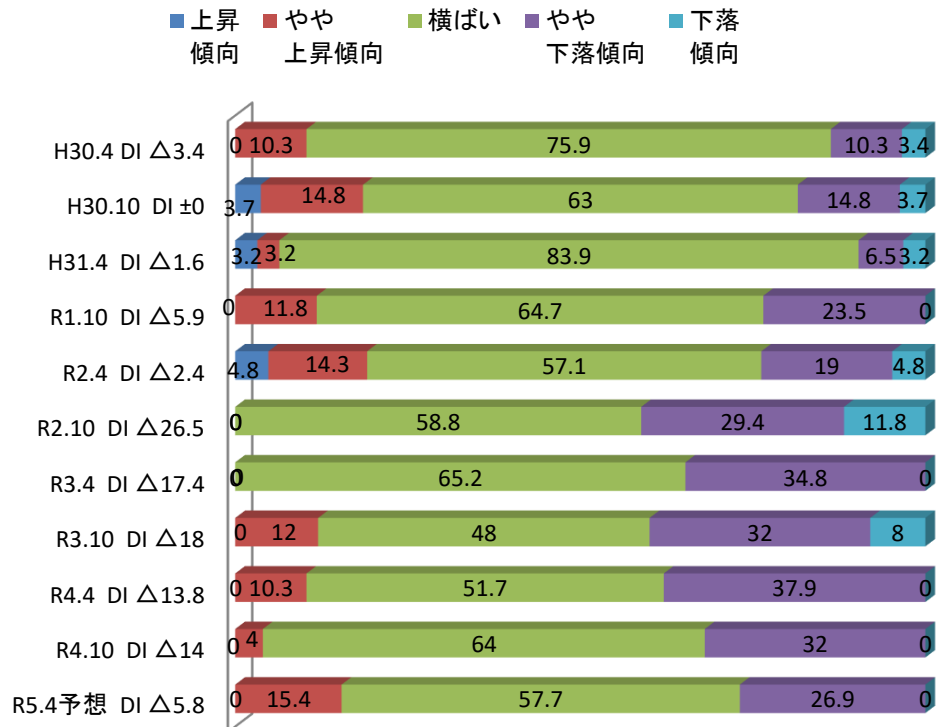
※地域別の地価動向（構成比）の推移



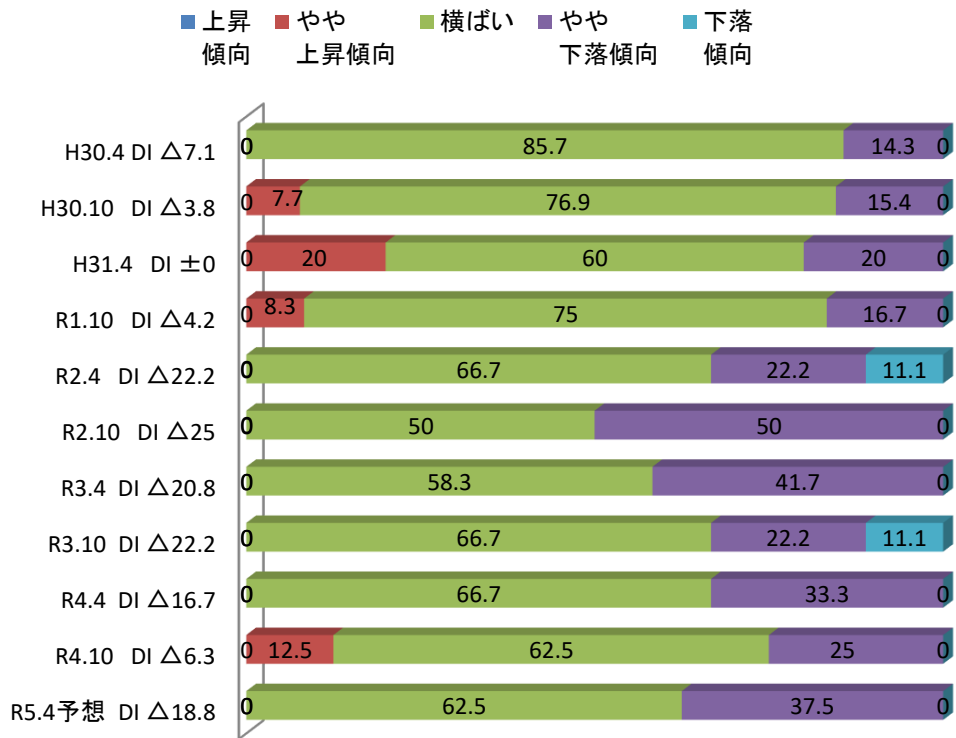
【高松市の郊外】地価動向・住宅地 構成比の推移



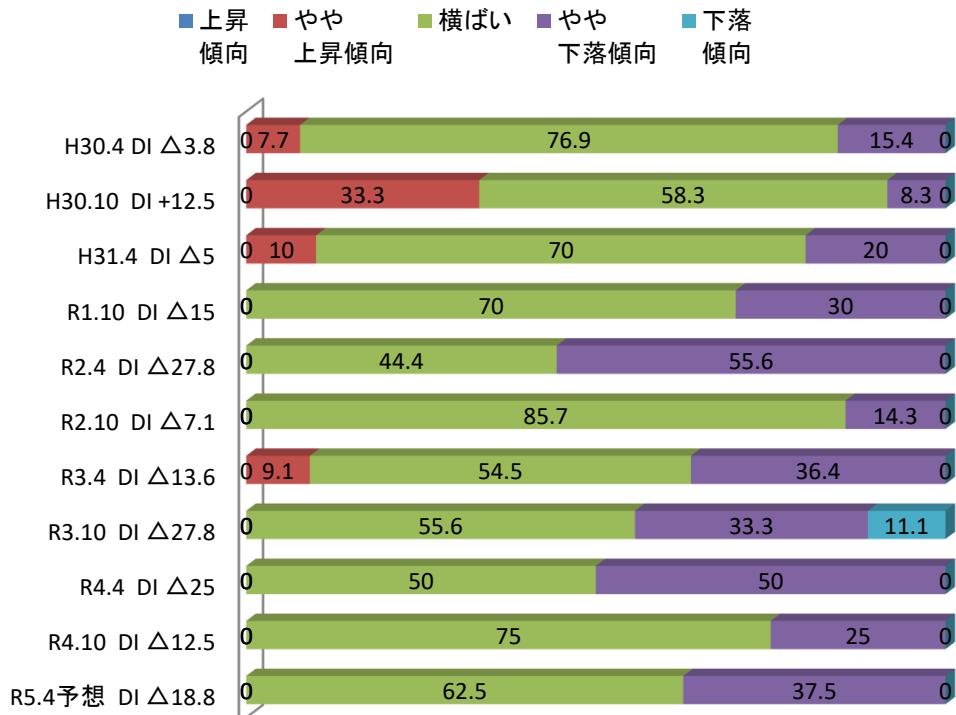
【高松市の郊外】地価動向・商業地 構成比の推移



【高松市の新市】地価動向・住宅地 構成比の推移

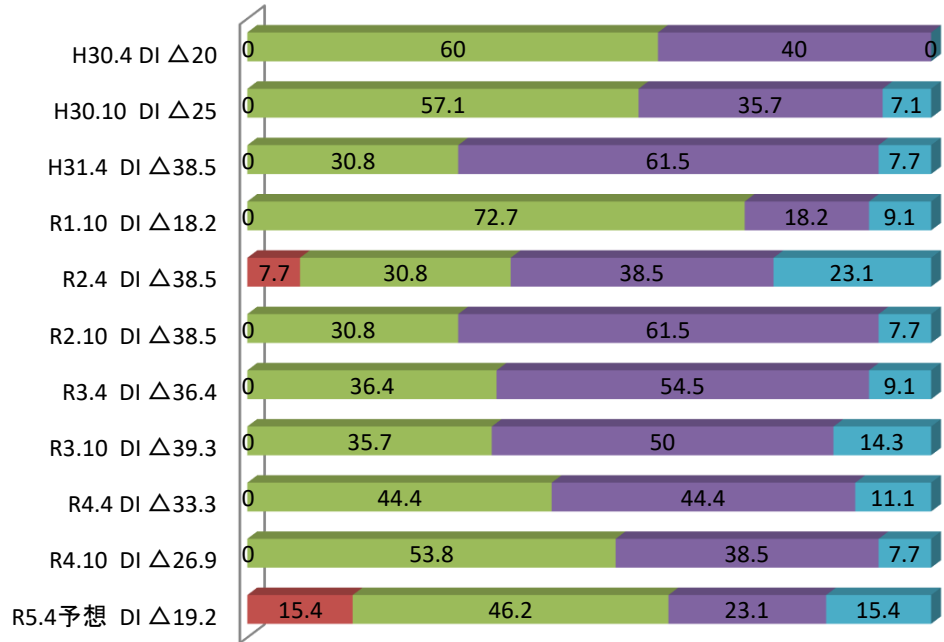


【高松市の新市】地価動向・商業地 構成比の推移



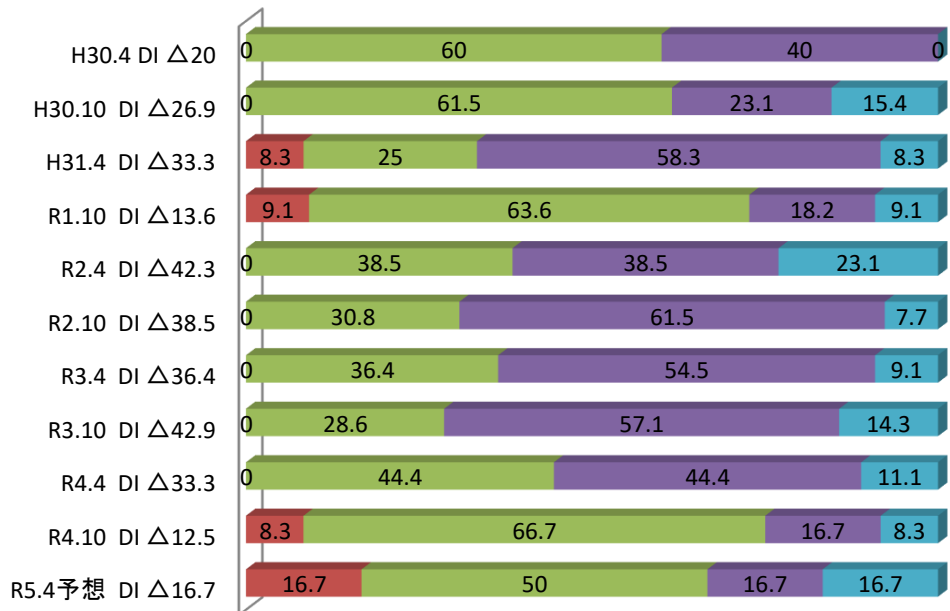
【大川地区】地価動向・住宅地 構成比の推移

■ 上昇傾向 ■ やや上昇傾向 ■ 横ばい ■ やや下落傾向 ■ 下落傾向

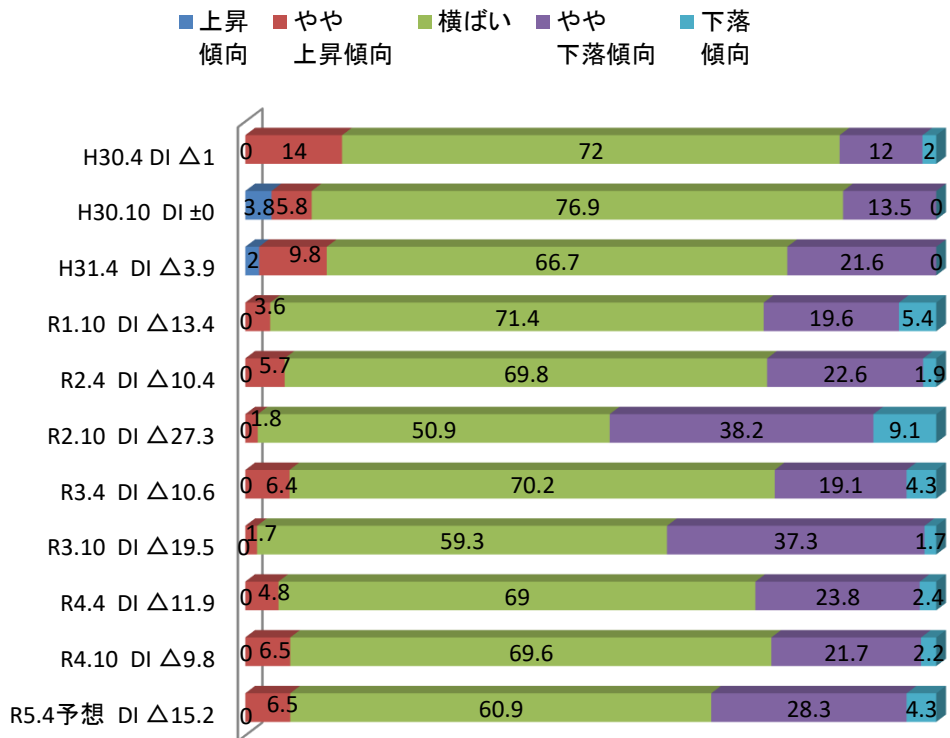


【大川地区】地価動向・商業地 構成比の推移

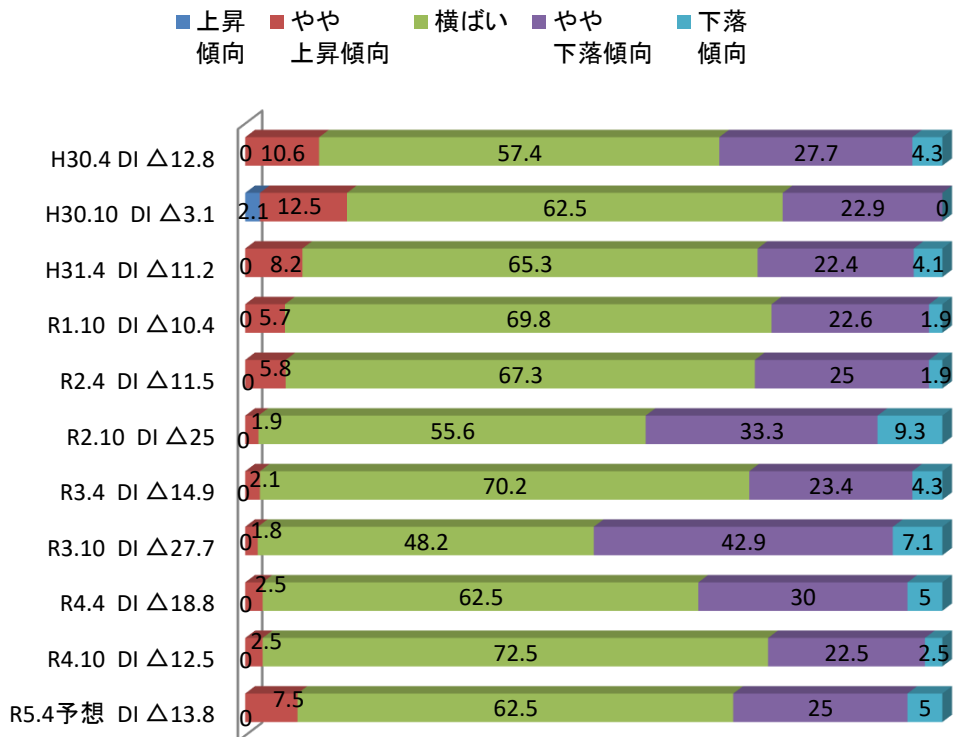
■ 上昇傾向 ■ やや上昇傾向 ■ 横ばい ■ やや下落傾向 ■ 下落傾向



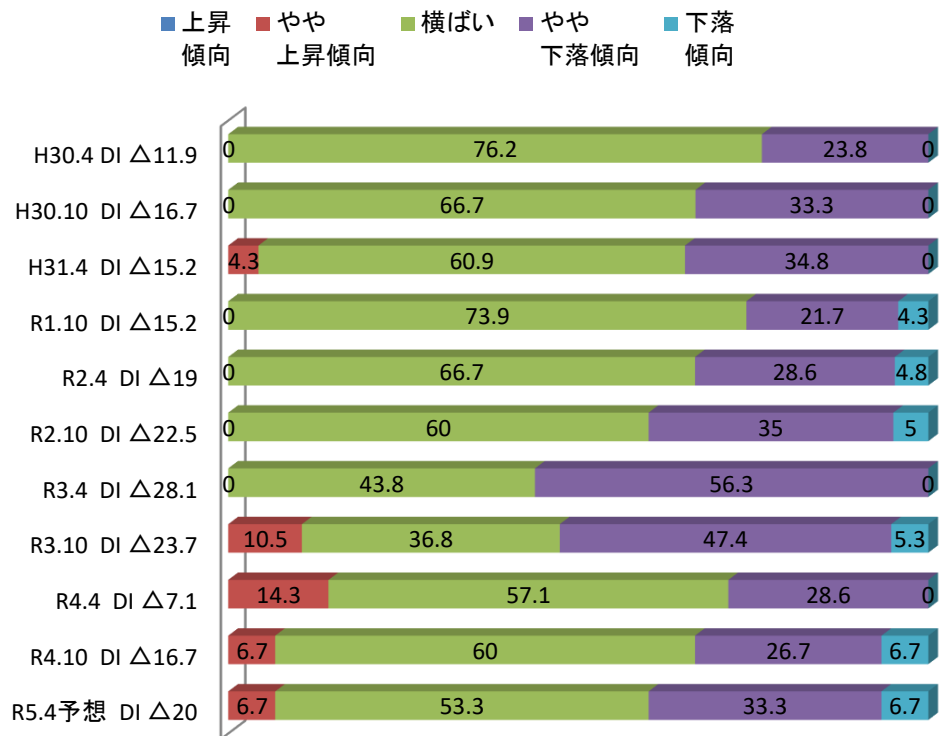
【中讃地区】地価動向・住宅地 構成比の推移



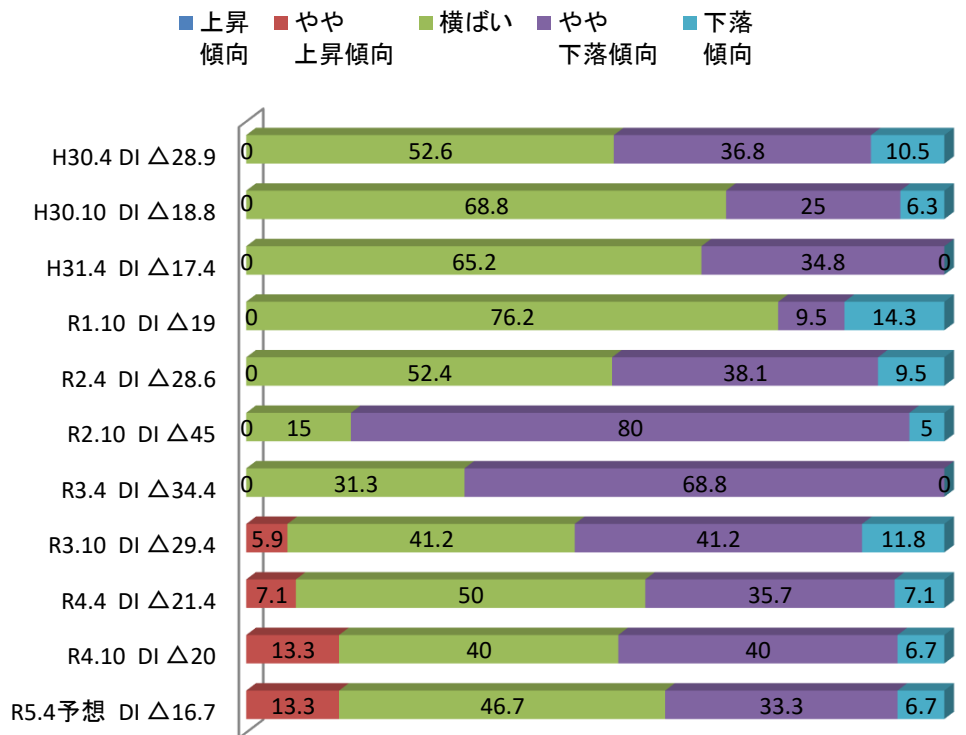
【中讃地区】地価動向・商業地 構成比の推移



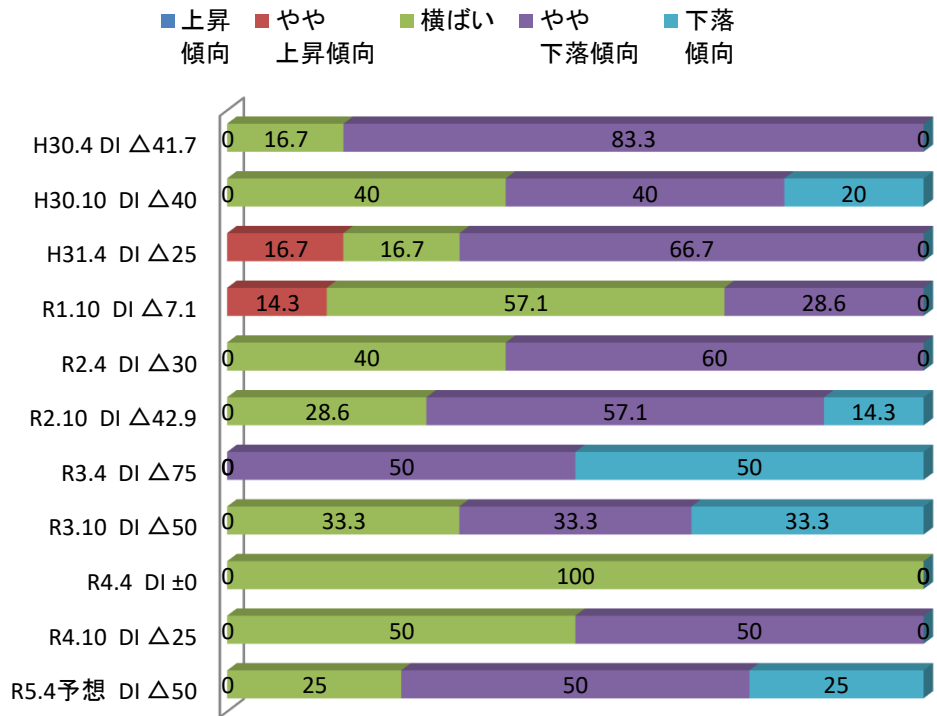
【三豊地区】地価動向・住宅地 構成比の推移



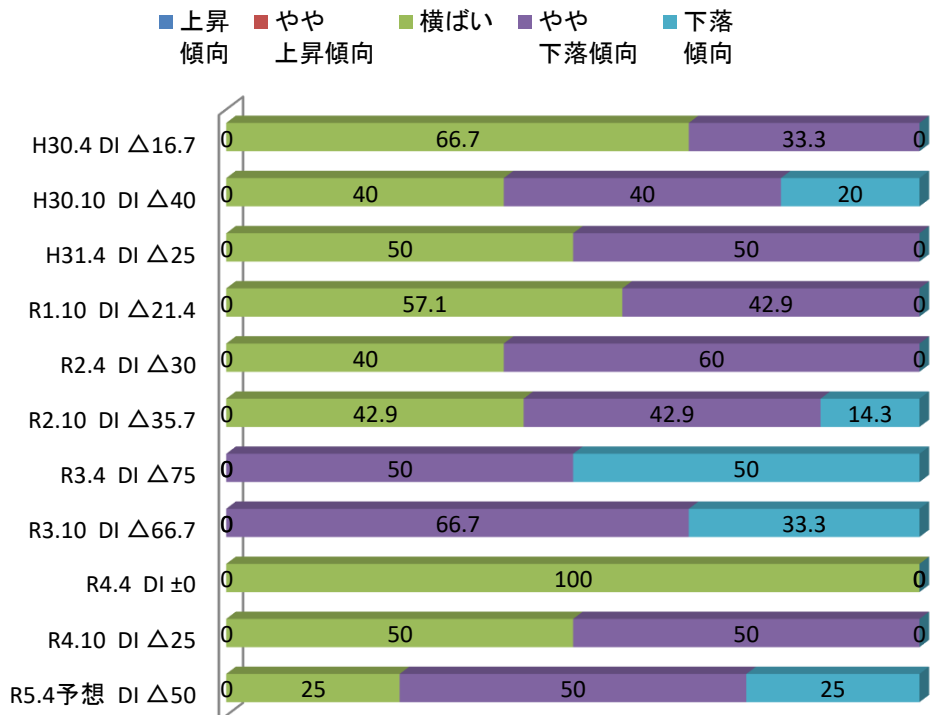
【三豊地区】地価動向・商業地 構成比の推移



【小豆地区】地価動向・住宅地 構成比の推移

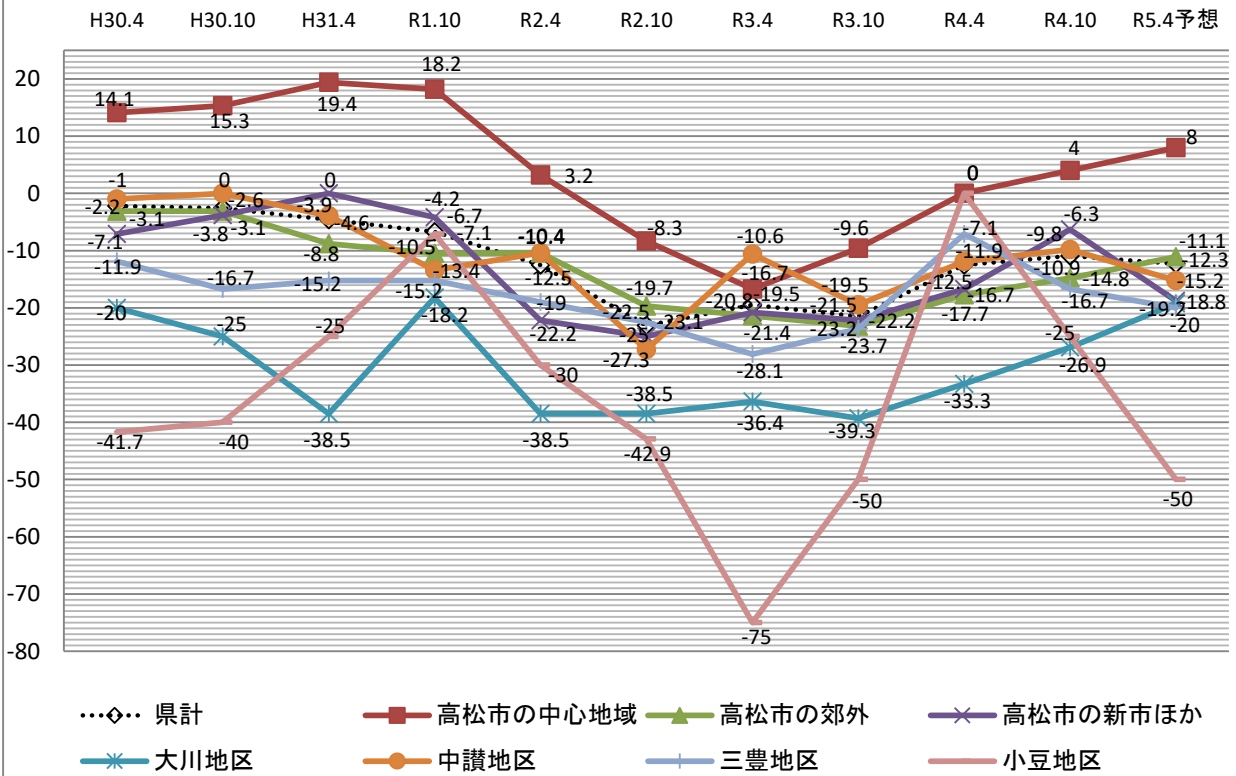


【小豆地区】地価動向・商業地 構成比の推移

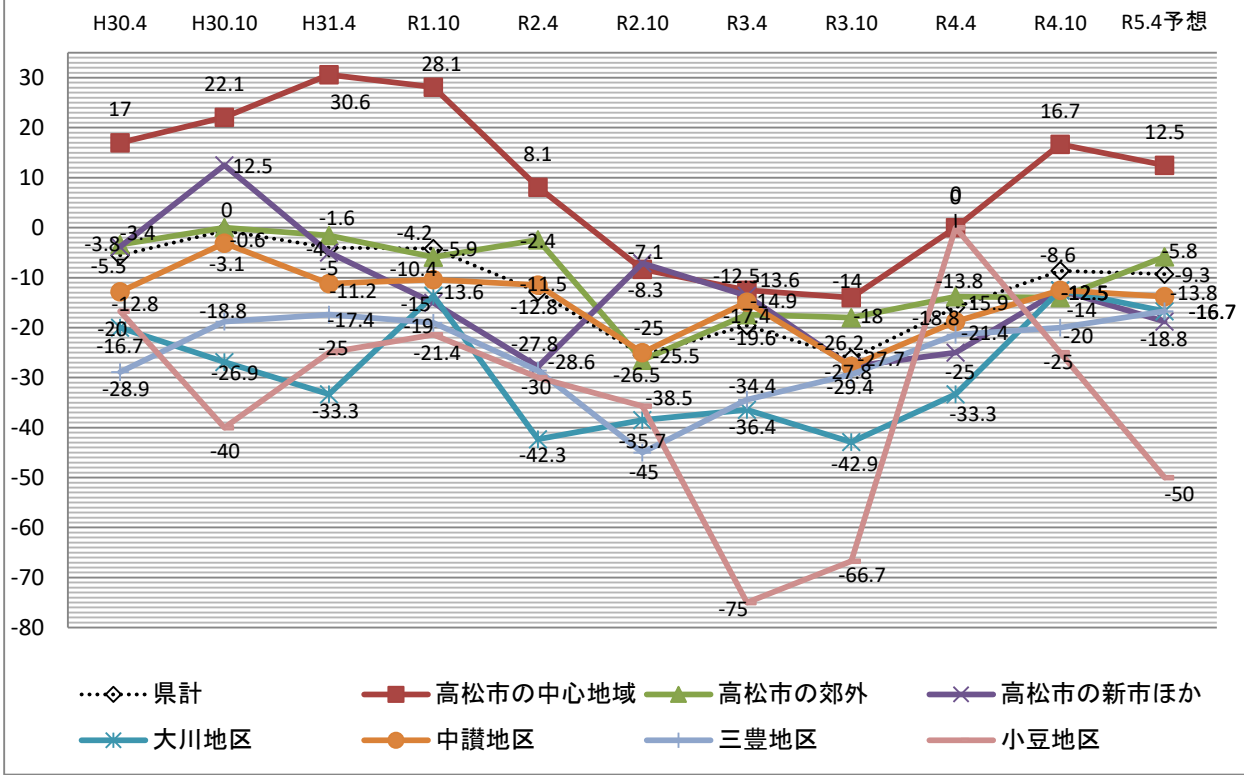


※地価動向D I 指標の推移（区分別総括）

地価動向DI 住宅地総括

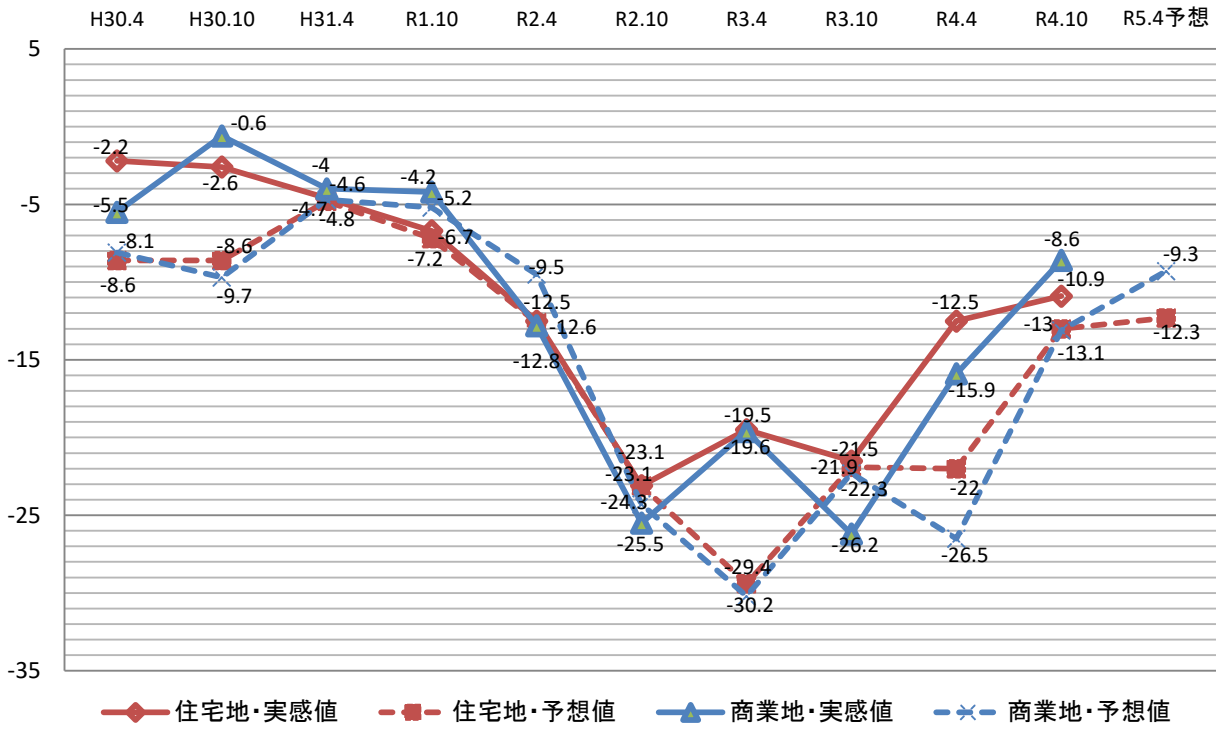


地価動向DI 商業地総括

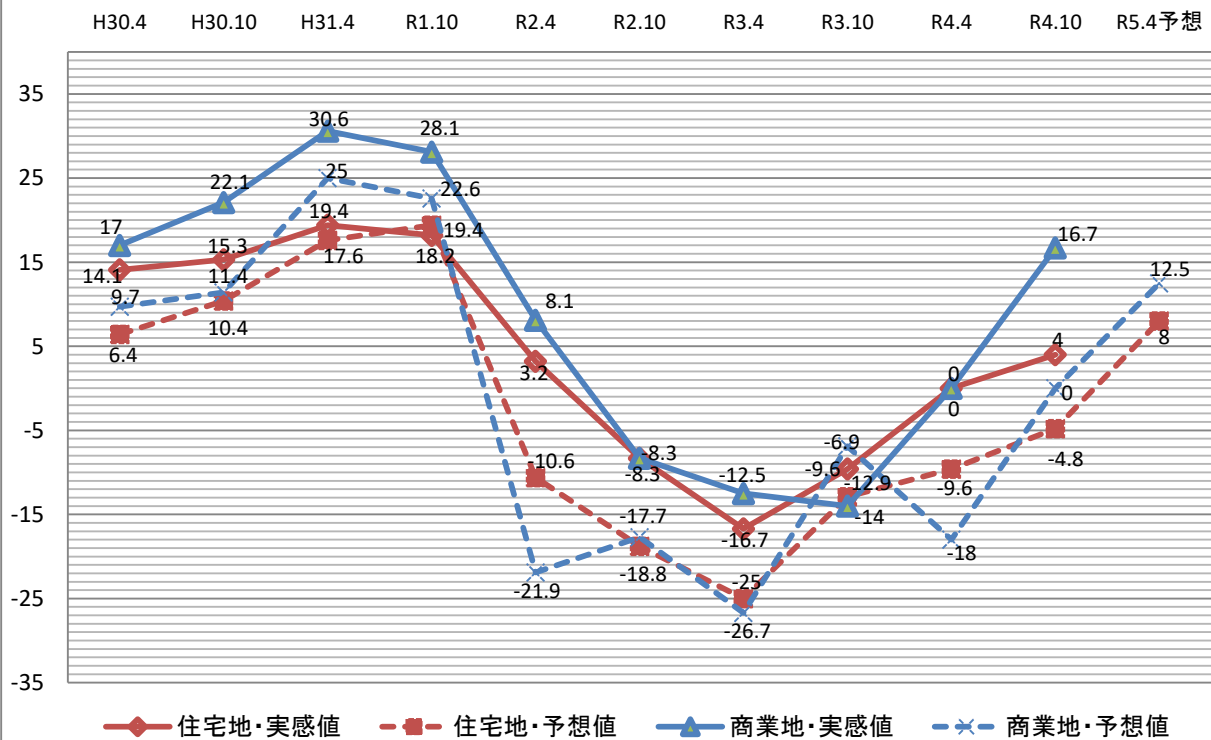


※地価動向D I 指標の推移（地域別、予想値含）

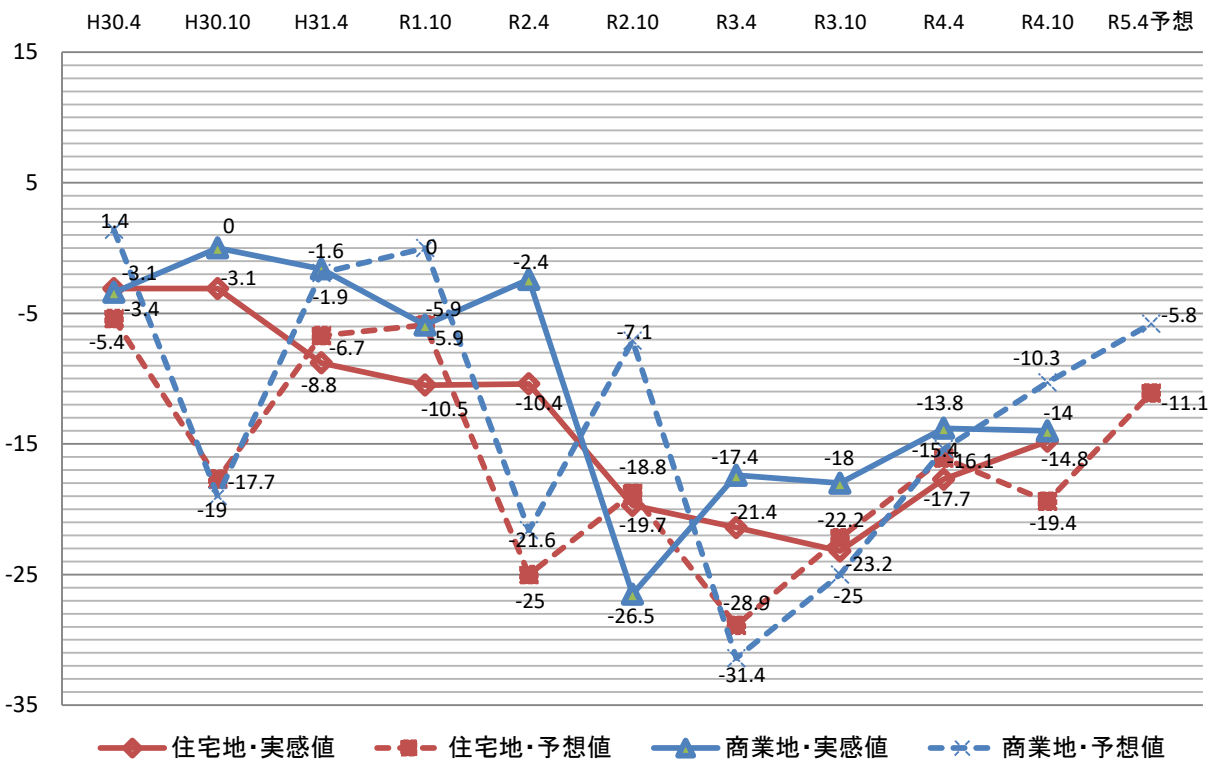
地価動向DI 県計



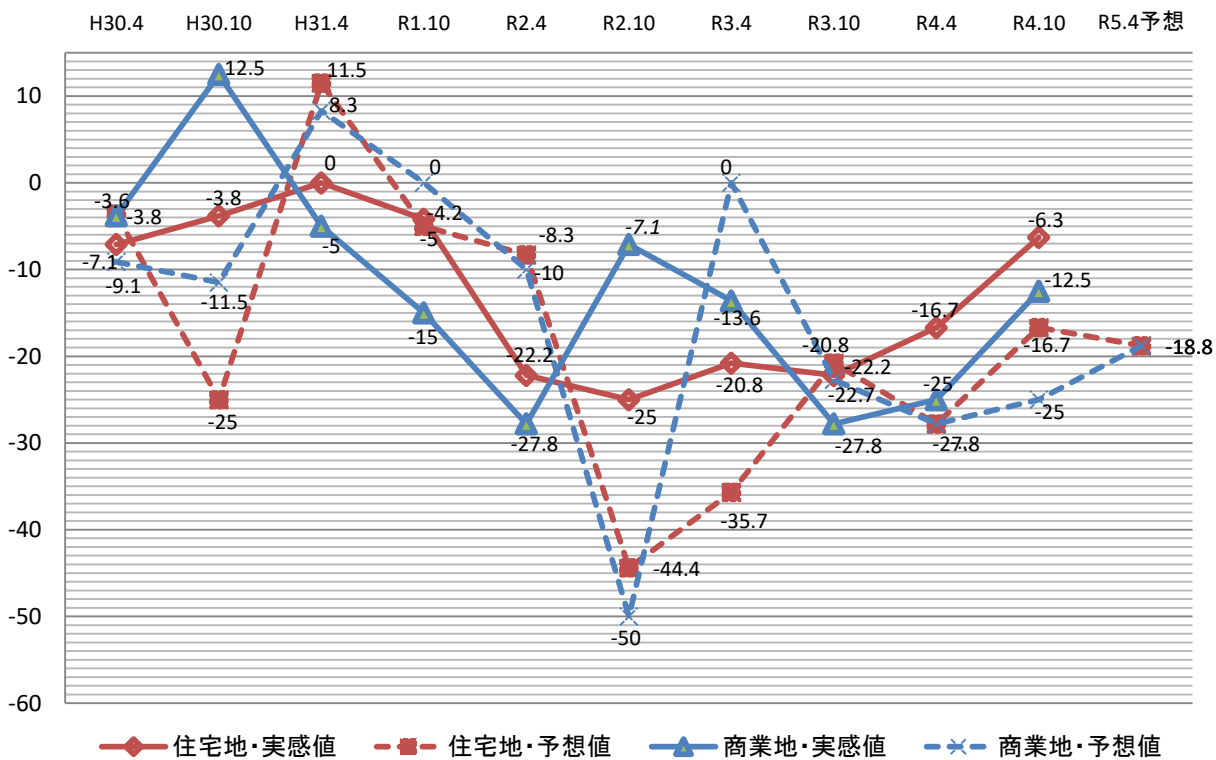
地価動向DI 高松市の中心地域



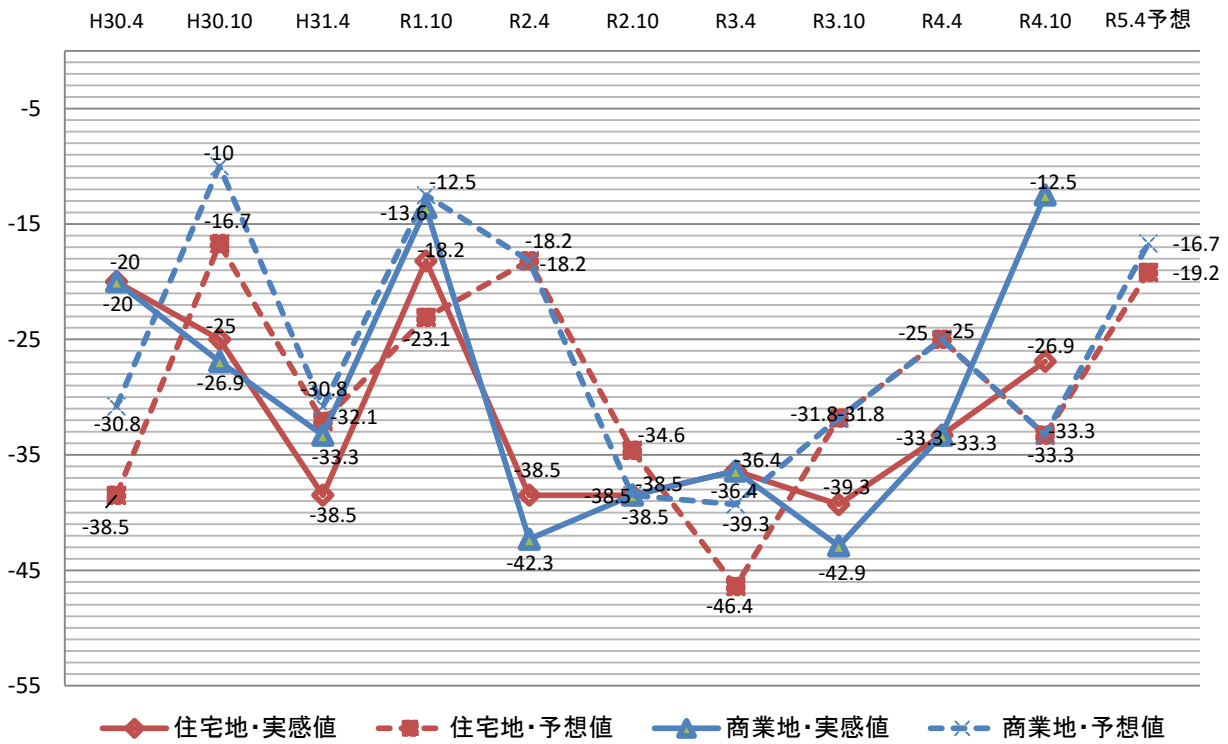
地価動向DI 高松市の郊外



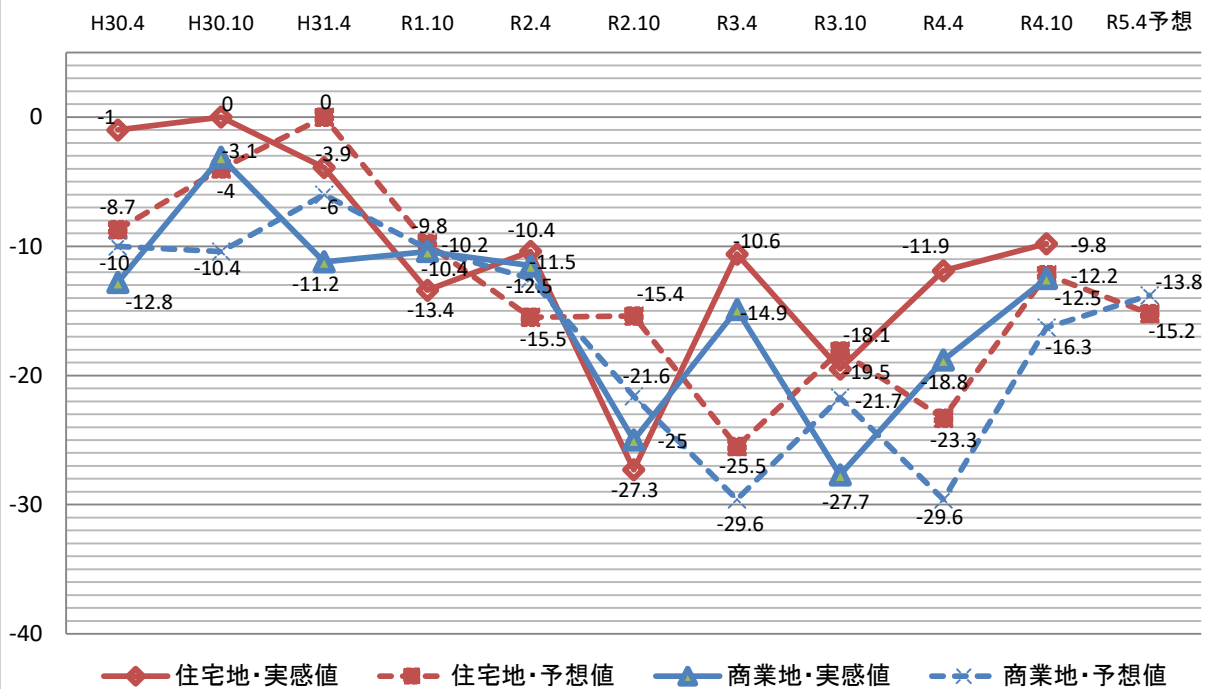
地価動向DI 高松市の新市ほか



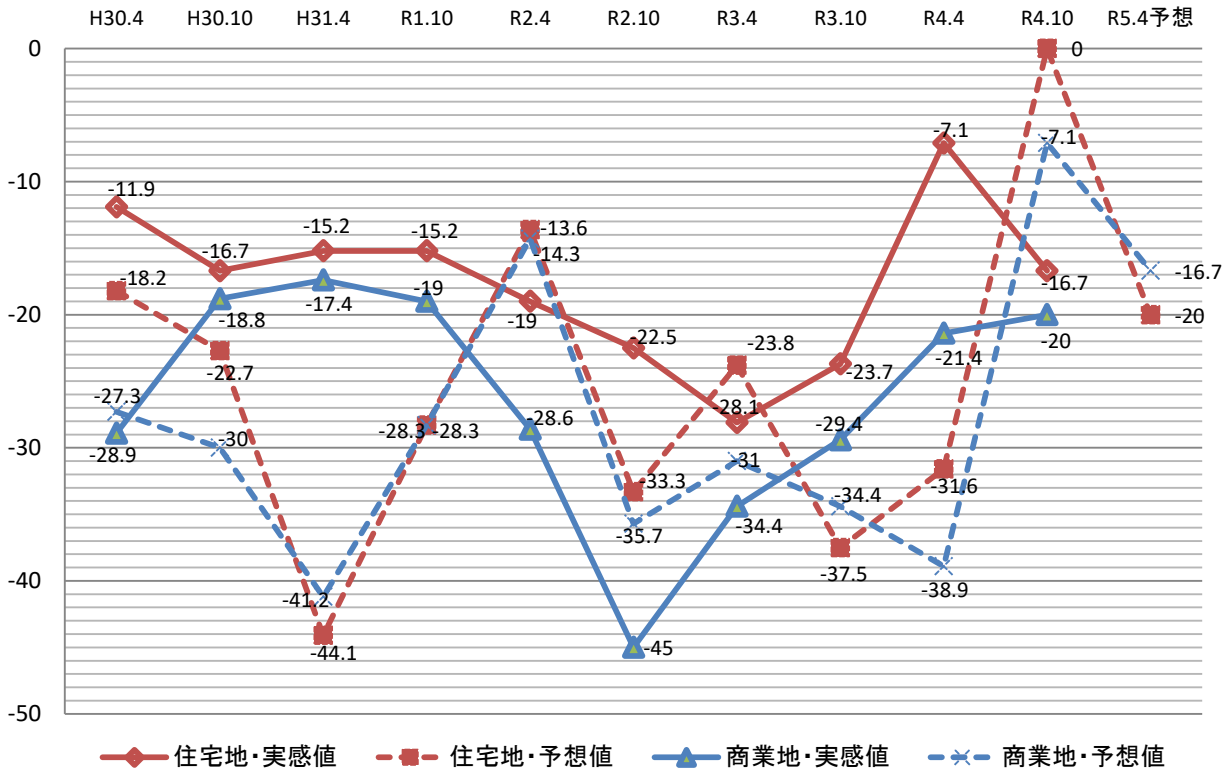
地価動向DI 大川地区



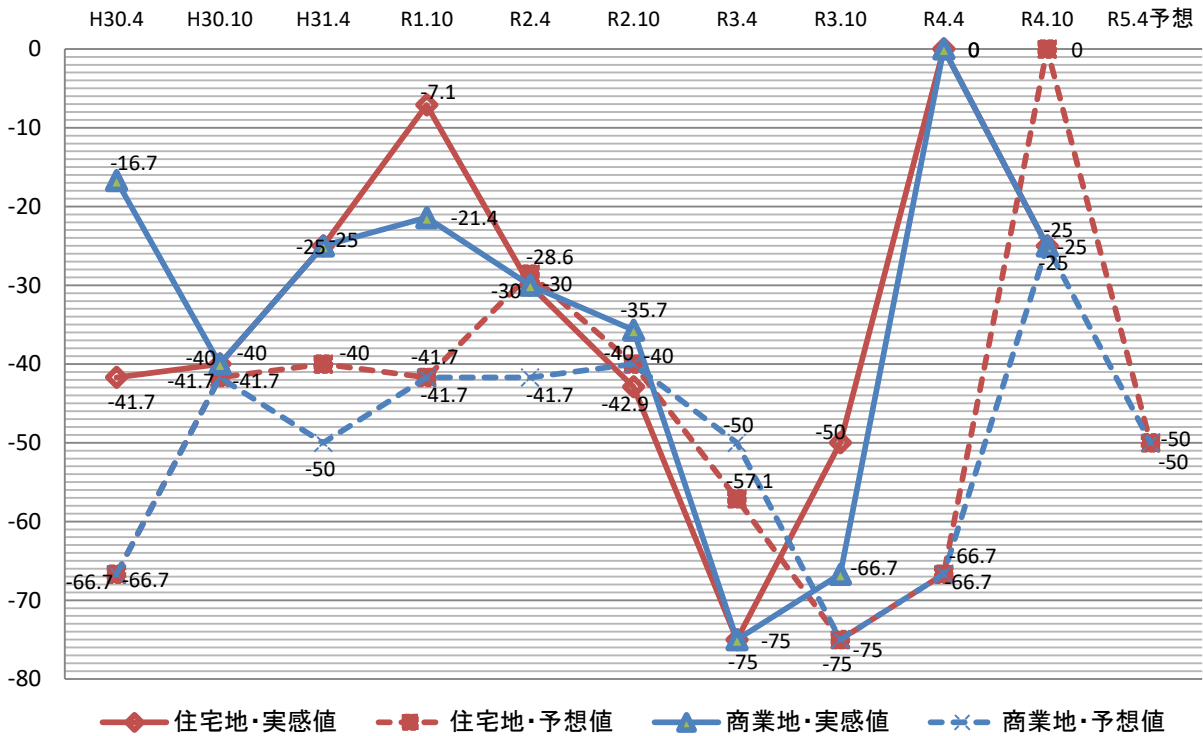
地価動向DI 中讃地区



地価動向DI 三豊地区



地価動向DI 小豆地区



2 不動産取引(取り扱い件数)の動向

① 全県の集計結果

問4 現在の取り扱い件数(半年前と比較)

イ.土地・分譲地等	増加傾向	やや増加傾向	横ばい	やや減少傾向	減少傾向	計	DI指数
	0	10	61	29	15	115	
(構成比)	0.0 %	8.7 %	53.0 %	25.2 %	13.0 %	100 %	

ロ.マンション販売	増加傾向	やや増加傾向	横ばい	やや減少傾向	減少傾向	計	DI指数
	1	1	51	16	12	81	
(構成比)	1.2 %	1.2 %	63.0 %	19.8 %	14.8 %	100 %	

ハ.仲介件数	増加傾向	やや増加傾向	横ばい	やや減少傾向	減少傾向	計	DI指数
	4	24	59	27	12	126	
(構成比)	3.2 %	19.0 %	46.8 %	21.4 %	9.5 %	100 %	

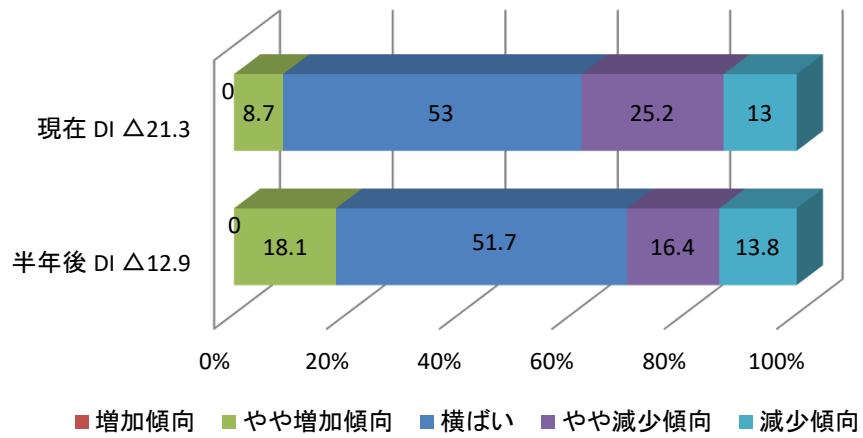
問5 半年後の取り扱い件数予想(現在と比較して)

イ.土地・分譲地等	増加傾向	やや増加傾向	横ばい	やや減少傾向	減少傾向	計	DI指数
	0	21	60	19	16	116	
(構成比)	0.0 %	18.1 %	51.7 %	16.4 %	13.8 %	100 %	

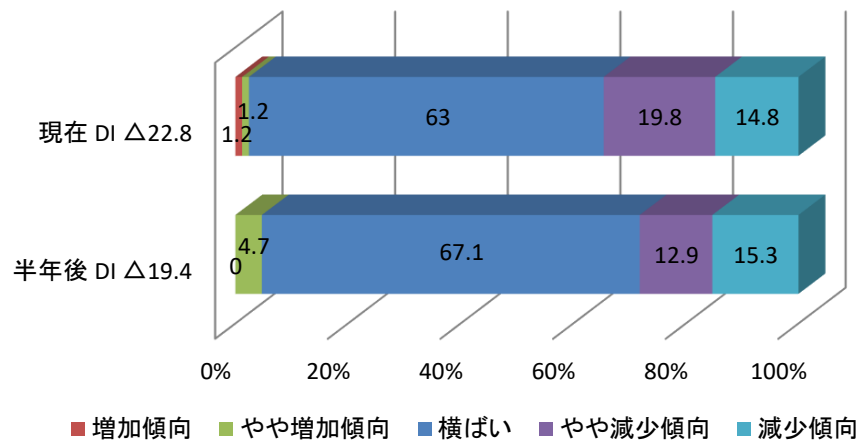
ロ.マンション販売	増加傾向	やや増加傾向	横ばい	やや減少傾向	減少傾向	計	DI指数
	0	4	57	11	13	85	
(構成比)	0.0 %	4.7 %	67.1 %	12.9 %	15.3 %	100 %	

ハ.仲介件数	増加傾向	やや増加傾向	横ばい	やや減少傾向	減少傾向	計	DI指数
	3	21	66	24	13	127	
(構成比)	2.4 %	16.5 %	52.0 %	18.9 %	10.2 %	100 %	

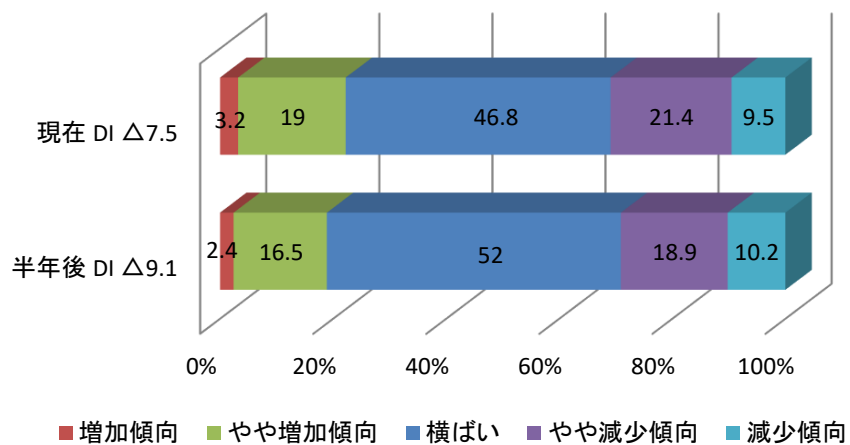
取引動向－土地・分譲地等(全県 構成比)



取引動向－マンション販売(全県 構成比)



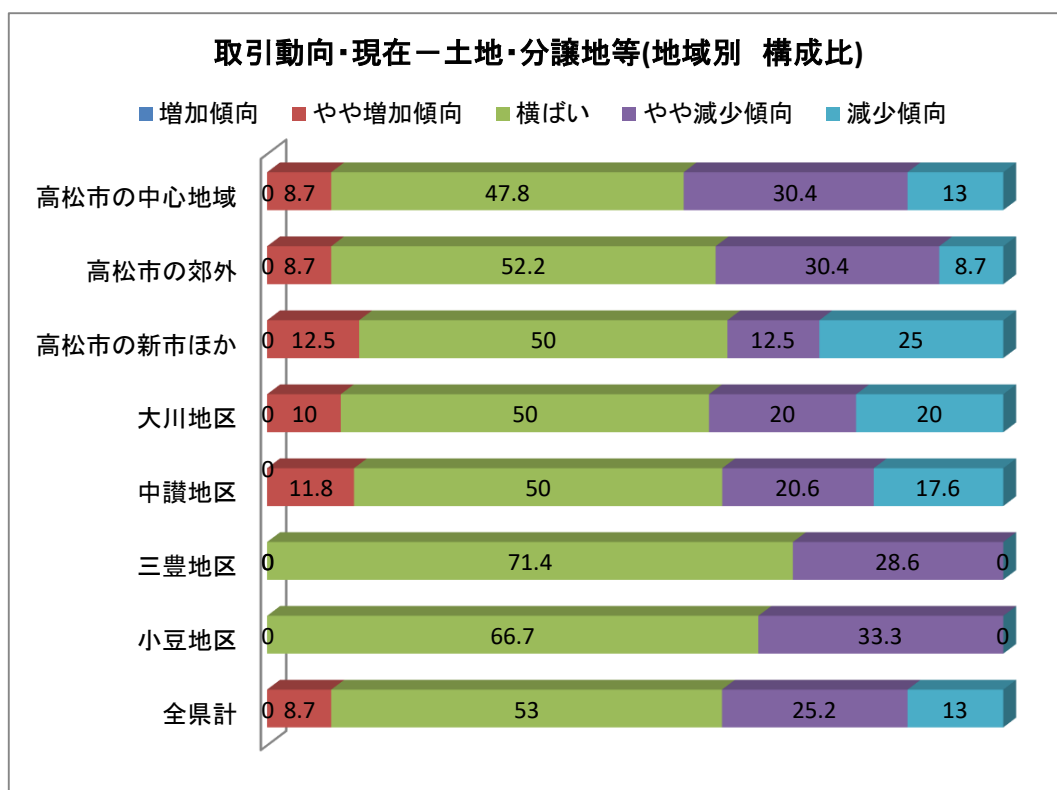
取引動向－仲介件数(全県 構成比)



② 地域別の集計結果

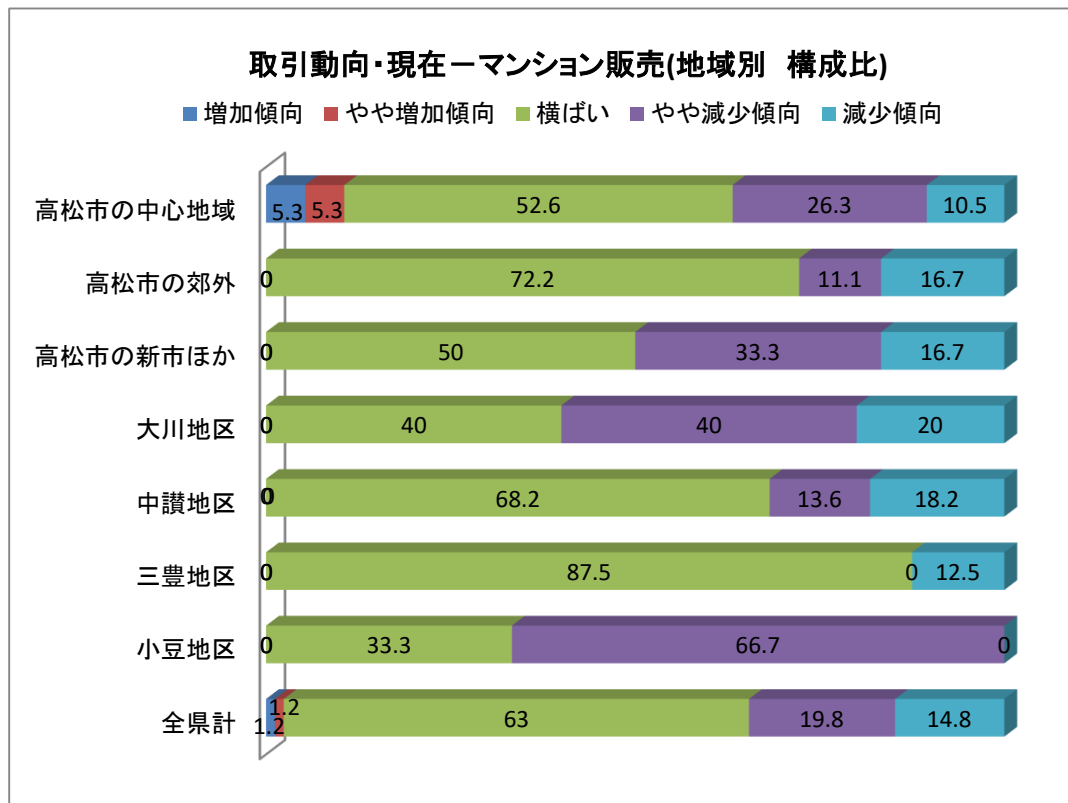
問4 現在の取り扱い件数(半年前と比較)

イ.土地・分譲地等	増加傾向	やや増加傾向	横ばい	やや減少傾向	減少傾向	計	DI指数
高松市の中心地域	0	2	11	7	3	23	△ 23.9
	0.0 %	8.7 %	47.8 %	30.4 %	13.0 %	100 %	
高松市の郊外	0	2	12	7	2	23	△ 19.6
	0.0 %	8.7 %	52.2 %	30.4 %	8.7 %	100 %	
高松市の新市ほか	0	1	4	1	2	8	△ 25.0
	0.0 %	12.5 %	50.0 %	12.5 %	25.0 %	100 %	
大川地区	0	1	5	2	2	10	△ 25.0
	0.0 %	10.0 %	50.0 %	20.0 %	20.0 %	100 %	
中讃地区	0	4	17	7	6	34	△ 22.1
	0.0 %	11.8 %	50.0 %	20.6 %	17.6 %	100 %	
三豊地区	0	0	10	4	0	14	△ 14.3
	0.0 %	0.0 %	71.4 %	28.6 %	0.0 %	100 %	
小豆地区	0	0	2	1	0	3	△ 16.7
	0.0 %	0.0 %	66.7 %	33.3 %	0.0 %	100 %	



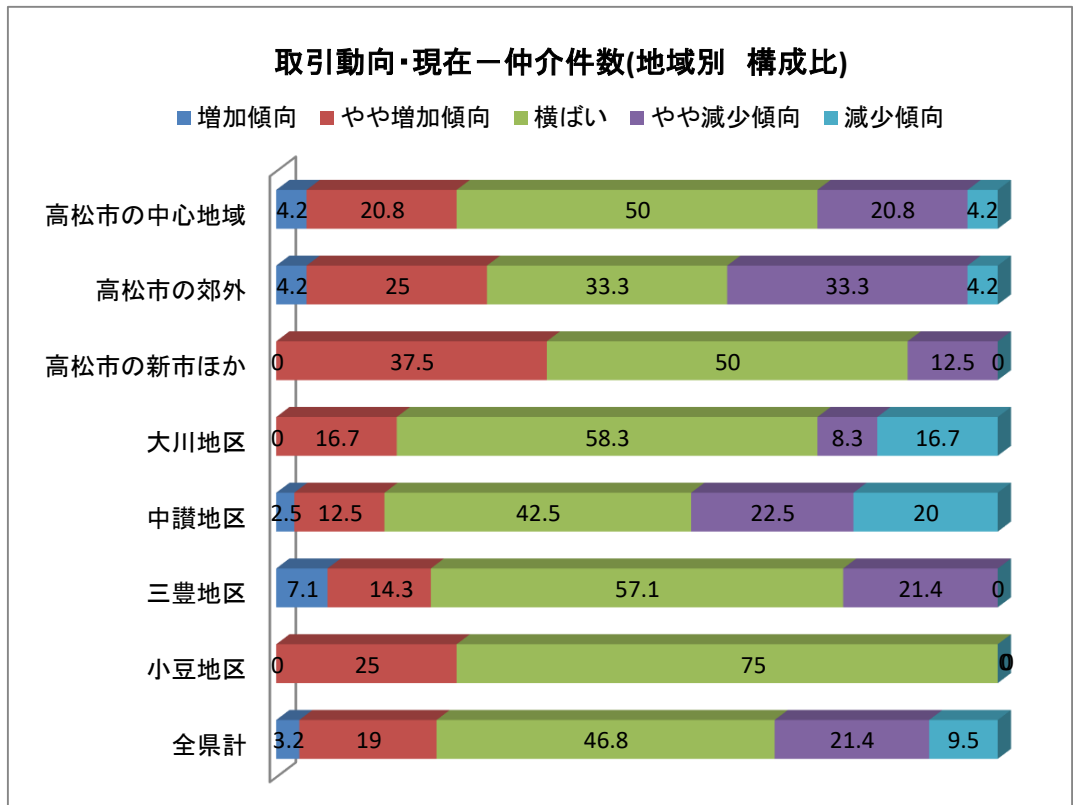
ロ.マンション販売

	増加傾向	やや増加傾向	横ばい	やや減少傾向	減少傾向	計	DI指数
高松市の中心地域	1	1	10	5	2	19	△ 15.8
	5.3 %	5.3 %	52.6 %	26.3 %	10.5 %	100 %	
高松市の郊外	0	0	13	2	3	18	△ 22.2
	0.0 %	0.0 %	72.2 %	11.1 %	16.7 %	100 %	
高松市の新市ほか	0	0	3	2	1	6	△ 33.3
	0.0 %	0.0 %	50.0 %	33.3 %	16.7 %	100 %	
大川地区	0	0	2	2	1	5	△ 40.0
	0.0 %	0.0 %	40.0 %	40.0 %	20.0 %	100 %	
中讃地区	0	0	15	3	4	22	△ 25.0
	0.0 %	0.0 %	68.2 %	13.6 %	18.2 %	100 %	
三豊地区	0	0	7	0	1	8	△ 12.5
	0.0 %	0.0 %	87.5 %	0.0 %	12.5 %	100 %	
小豆地区	0	0	1	2	0	3	△ 33.3
	0.0 %	0.0 %	33.3 %	66.7 %	0.0 %	100 %	



ハ.仲介件数

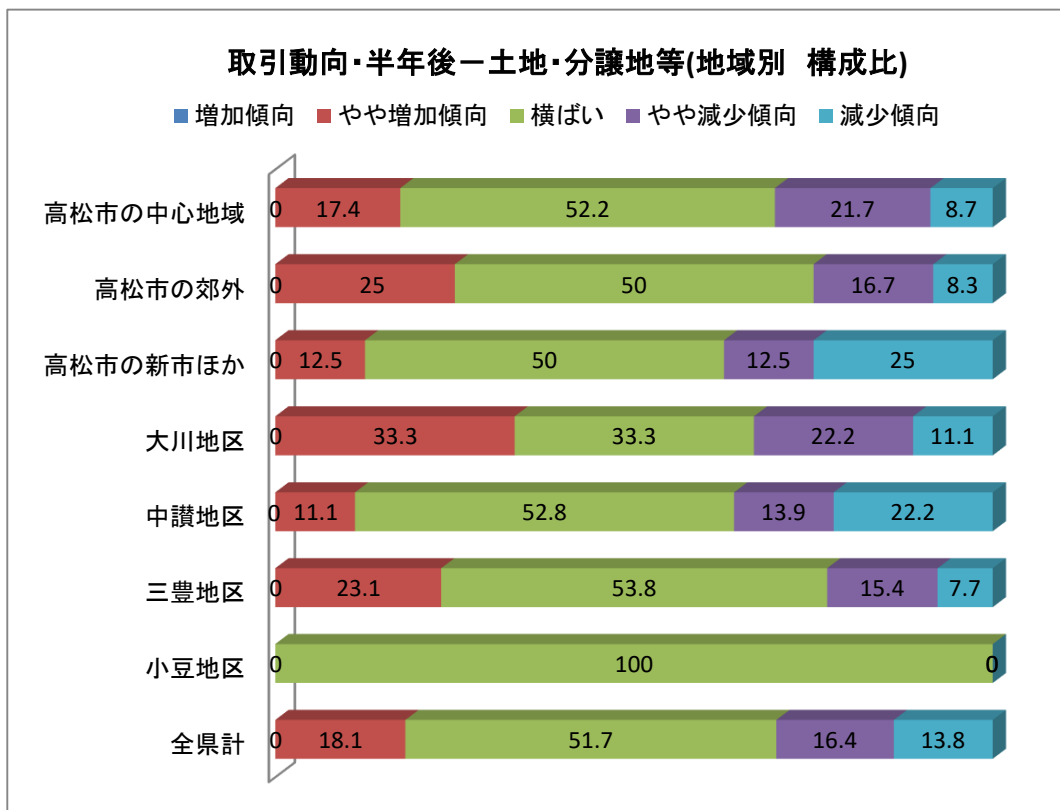
	増加傾向	やや増加傾向	横ばい	やや減少傾向	減少傾向	計	DI指数
高松市の中心地域	1	5	12	5	1	24	± 0.0
	4.2 %	20.8 %	50.0 %	20.8 %	4.2 %	100 %	
高松市の郊外	1	6	8	8	1	24	△ 4.2
	4.2 %	25.0 %	33.3 %	33.3 %	4.2 %	100 %	
高松市の新市ほか	0	3	4	1	0	8	+ 12.5
	0.0 %	37.5 %	50.0 %	12.5 %	0.0 %	100 %	
大川地区	0	2	7	1	2	12	△ 12.5
	0.0 %	16.7 %	58.3 %	8.3 %	16.7 %	100 %	
中讃地区	1	5	17	9	8	40	△ 22.5
	2.5 %	12.5 %	42.5 %	22.5 %	20.0 %	100 %	
三豊地区	1	2	8	3	0	14	+ 3.6
	7.1 %	14.3 %	57.1 %	21.4 %	0.0 %	100 %	
小豆地区	0	1	3	0	0	4	+ 12.5
	0.0 %	25.0 %	75.0 %	0.0 %	0.0 %	100 %	



問5 半年後の取り扱い件数予想(現在と比較)

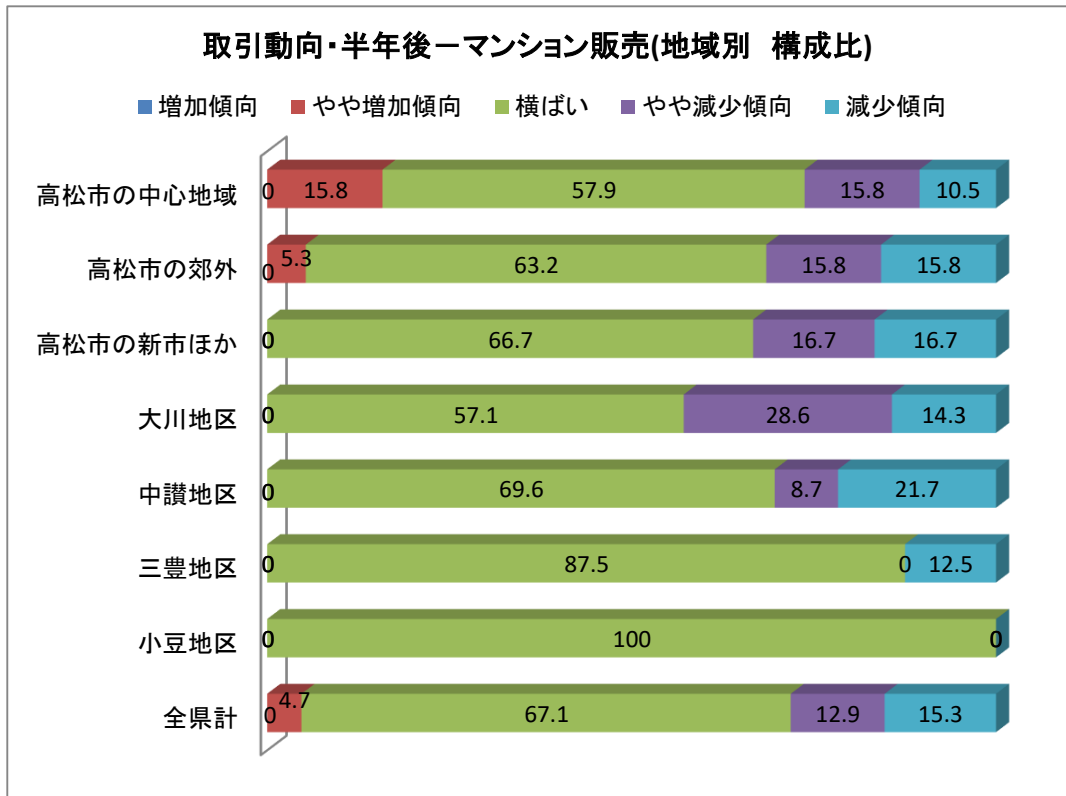
イ.土地・分譲地等

	増加傾向	やや増加傾向	横ばい	やや減少傾向	減少傾向	計	DI指数
高松市の中心地域	0	4	12	5	2	23	△ 10.9
	0.0 %	17.4 %	52.2 %	21.7 %	8.7 %	100 %	
高松市の郊外	0	6	12	4	2	24	△ 4.2
	0.0 %	25.0 %	50.0 %	16.7 %	8.3 %	100 %	
高松市の新市ほか	0	1	4	1	2	8	△ 25.0
	0.0 %	12.5 %	50.0 %	12.5 %	25.0 %	100 %	
大川地区	0	3	3	2	1	9	△ 5.6
	0.0 %	33.3 %	33.3 %	22.2 %	11.1 %	100 %	
中讃地区	0	4	19	5	8	36	△ 23.6
	0.0 %	11.1 %	52.8 %	13.9 %	22.2 %	100 %	
三豊地区	0	3	7	2	1	13	△ 3.8
	0.0 %	23.1 %	53.8 %	15.4 %	7.7 %	100 %	
小豆地区	0	0	3	0	0	3	± 0.0
	0.0 %	0.0 %	100.0 %	0.0 %	0.0 %	100 %	

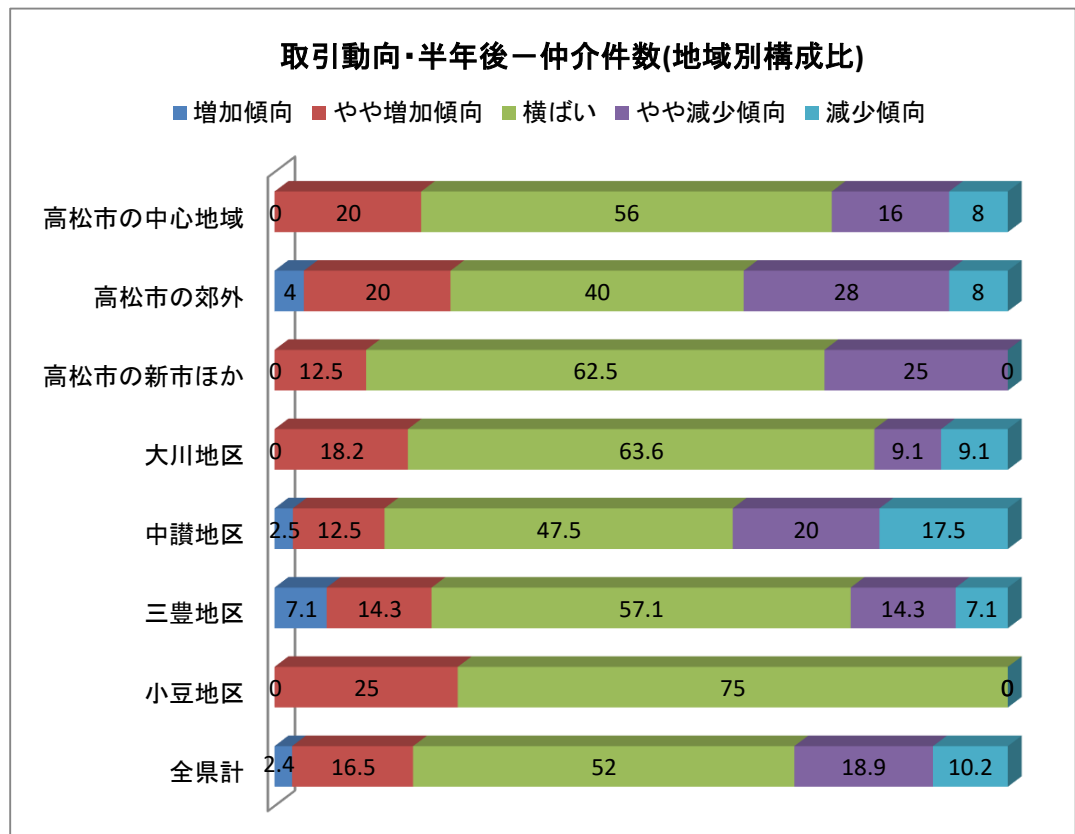


ロ.マンション販売

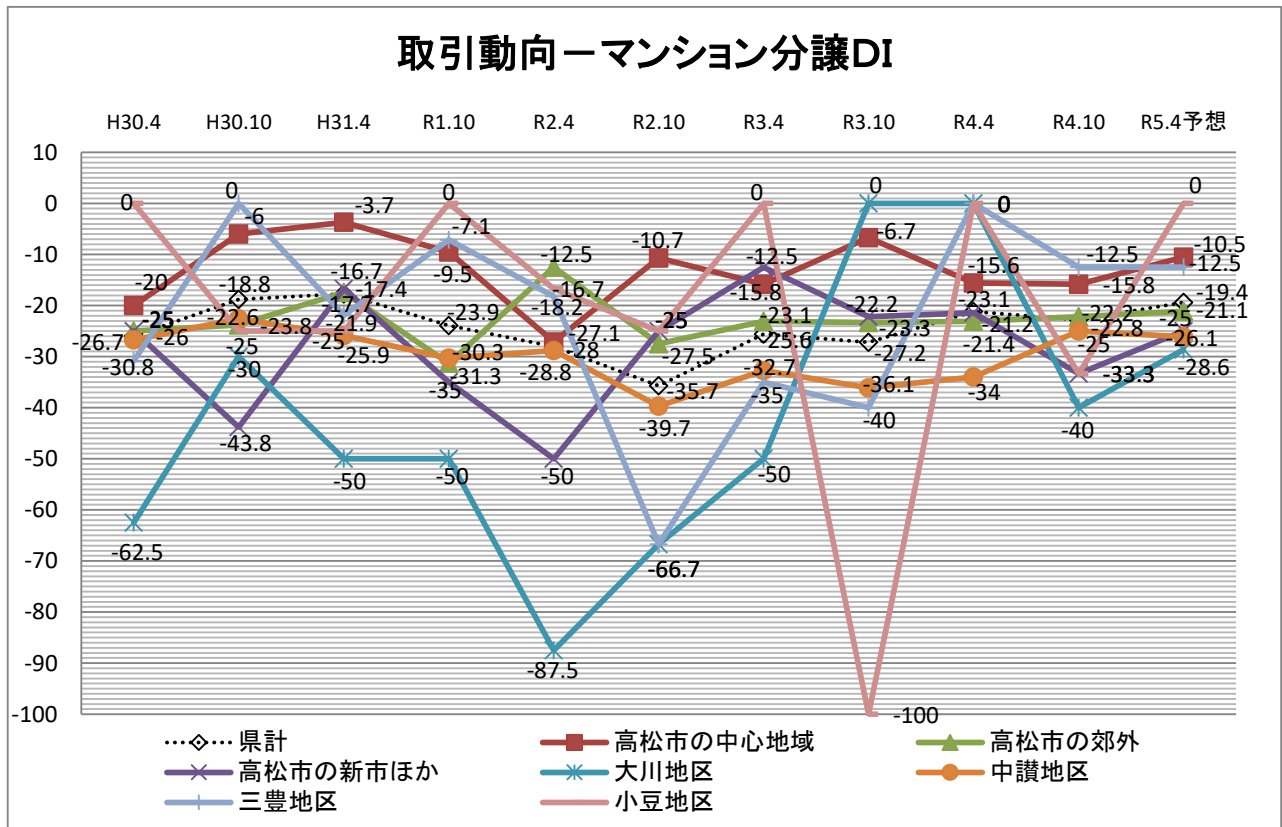
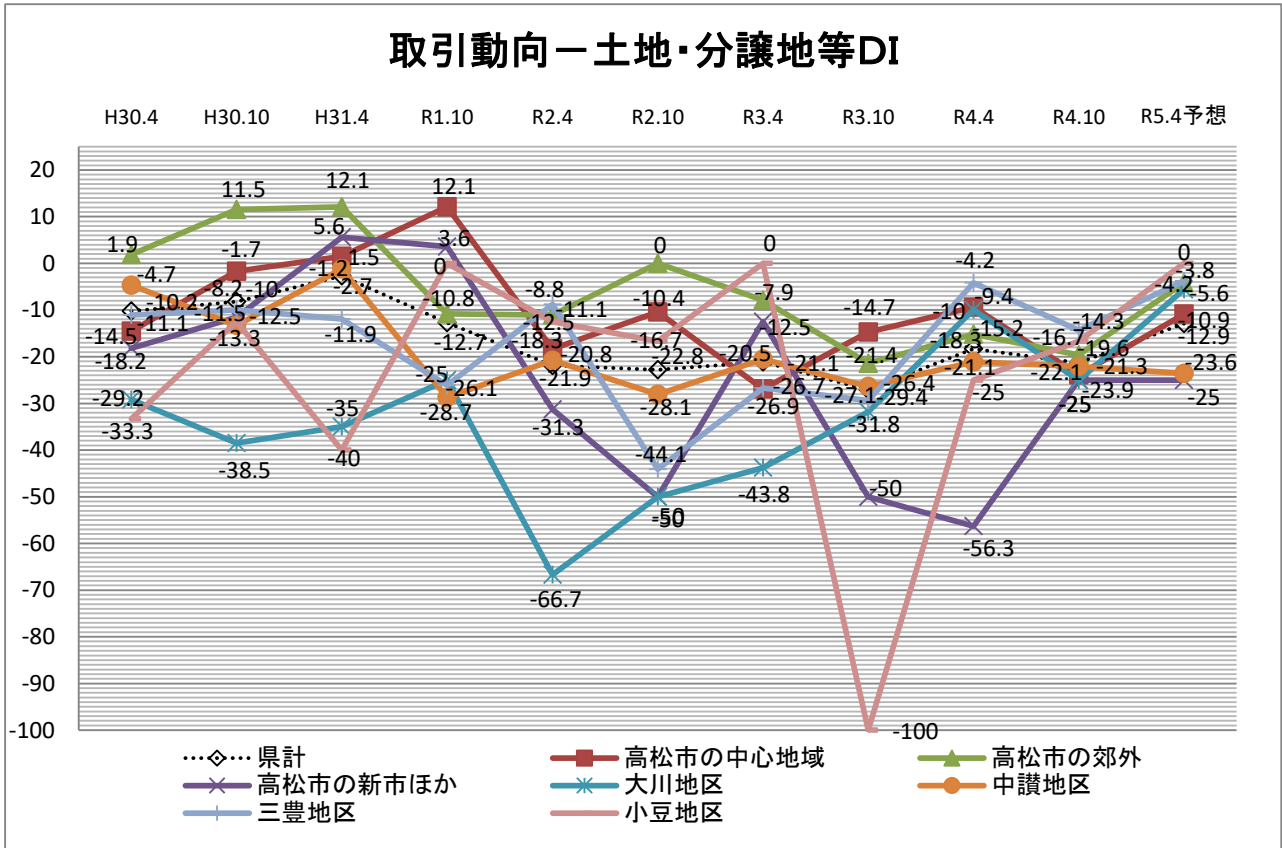
	増加傾向	やや増加傾向	横ばい	やや減少傾向	減少傾向	計	DI指数
高松市の中心地域	0	3	11	3	2	19	△ 10.5
	0.0 %	15.8 %	57.9 %	15.8 %	10.5 %	100 %	
高松市の郊外	0	1	12	3	3	19	△ 21.1
	0.0 %	5.3 %	63.2 %	15.8 %	15.8 %	100 %	
高松市の新市ほか	0	0	4	1	1	6	△ 25.0
	0.0 %	0.0 %	66.7 %	16.7 %	16.7 %	100 %	
大川地区	0	0	4	2	1	7	△ 28.6
	0.0 %	0.0 %	57.1 %	28.6 %	14.3 %	100 %	
中讃地区	0	0	16	2	5	23	△ 26.1
	0.0 %	0.0 %	69.6 %	8.7 %	21.7 %	100 %	
三豊地区	0	0	7	0	1	8	△ 12.5
	0.0 %	0.0 %	87.5 %	0.0 %	12.5 %	100 %	
小豆地区	0	0	3	0	0	3	± 0.0
	0.0 %	0.0 %	100.0 %	0.0 %	0.0 %	100 %	



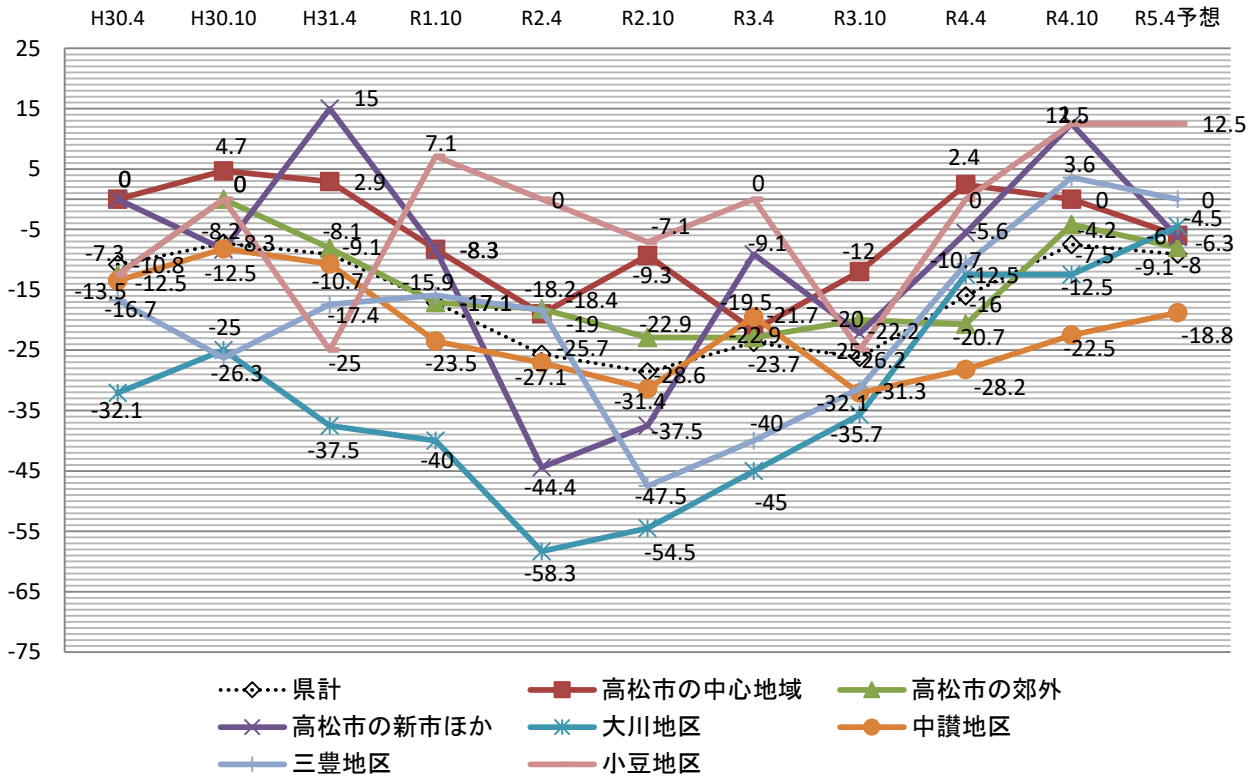
ハ.仲介件数	増加傾向	やや増加傾向	横ばい	やや減少傾向	減少傾向	計	DI指数
高松市の中心地域	0	5	14	4	2	25	△ 6.0
	0.0 %	20.0 %	56.0 %	16.0 %	8.0 %	100 %	
高松市の郊外	1	5	10	7	2	25	△ 8.0
	4.0 %	20.0 %	40.0 %	28.0 %	8.0 %	100 %	
高松市の新市ほか	0	1	5	2	0	8	△ 6.3
	0.0 %	12.5 %	62.5 %	25.0 %	0.0 %	100 %	
大川地区	0	2	7	1	1	11	△ 4.5
	0.0 %	18.2 %	63.6 %	9.1 %	9.1 %	100 %	
中讃地区	1	5	19	8	7	40	△ 18.8
	2.5 %	12.5 %	47.5 %	20.0 %	17.5 %	100 %	
三豊地区	1	2	8	2	1	14	± 0.0
	7.1 %	14.3 %	57.1 %	14.3 %	7.1 %	100 %	
小豆地区	0	1	3	0	0	4	+ 12.5
	0.0 %	25.0 %	75.0 %	0.0 %	0.0 %	100 %	



※取引動向D I 指標の推移（区分別総括）



取引動向一仲介件数DI



3 賃貸市場の動向

① 全県の集計結果

問6 現在の賃料・空室率(半年前と比較)

(1)店舗・事務所

イ.賃料

上昇傾向	やや上昇傾向	横ばい	やや下落傾向	下落傾向	計
0	0	69	44	4	117
0.0 %	0.0 %	59.0 %	37.6 %	3.4 %	100 %

DI指数

△ 22.2

ロ.空室率

減少傾向	やや減少傾向	横ばい	やや増加傾向	増加傾向	計
2	2	60	47	5	116
1.7 %	1.7 %	51.7 %	40.5 %	4.3 %	100 %

DI指数

△ 22.0

(2)共同住宅

イ.賃料

上昇傾向	やや上昇傾向	横ばい	やや下落傾向	下落傾向	計
0	1	69	39	5	114
0.0 %	0.9 %	60.5 %	34.2 %	4.4 %	100 %

DI指数

△ 21.1

ロ.空室率

減少傾向	やや減少傾向	横ばい	やや増加傾向	増加傾向	計
0	7	57	42	7	113
0.0 %	6.2 %	50.4 %	37.2 %	6.2 %	100 %

DI指数

△ 21.7

問7 半年後の賃料・空室率予想(現在と比較)

(1)店舗・事務所

イ.賃料

上昇傾向	やや上昇傾向	横ばい	やや下落傾向	下落傾向	計
0	2	64	47	4	117
0.0 %	1.7 %	54.7 %	40.2 %	3.4 %	100 %

DI指数

△ 22.6

ロ.空室率

減少傾向	やや減少傾向	横ばい	やや増加傾向	増加傾向	計
0	2	57	55	3	117
0.0 %	1.7 %	48.7 %	47.0 %	2.6 %	100 %

DI指数

△ 25.2

(2)共同住宅

イ.賃料

上昇傾向	やや上昇傾向	横ばい	やや下落傾向	下落傾向	計
0	1	63	49	4	117
0.0 %	0.9 %	53.8 %	41.9 %	3.4 %	100 %

DI指数

△ 23.9

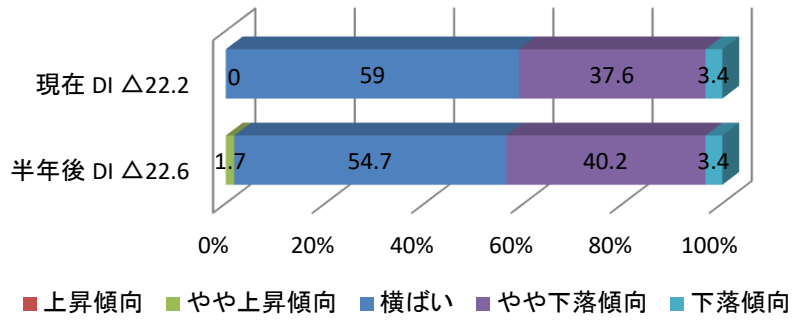
ロ.空室率

減少傾向	やや減少傾向	横ばい	やや増加傾向	増加傾向	計
0	2	53	56	5	116
0.0 %	1.7 %	45.7 %	48.3 %	4.3 %	100 %

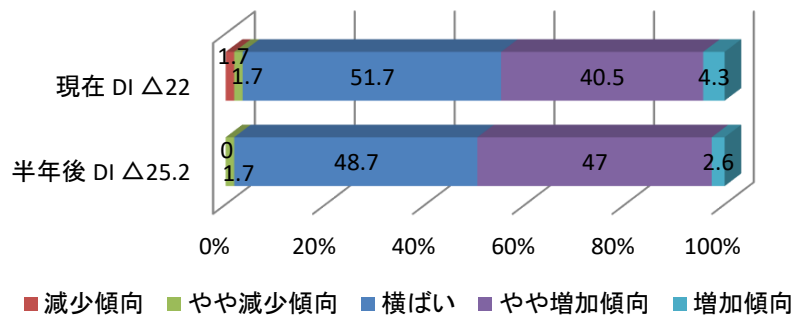
DI指数

△ 27.6

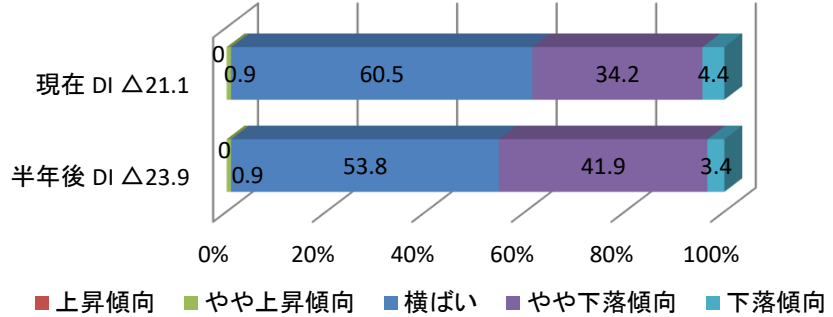
賃貸市場の動向—店舗・事務所の賃料(全県 構成比)



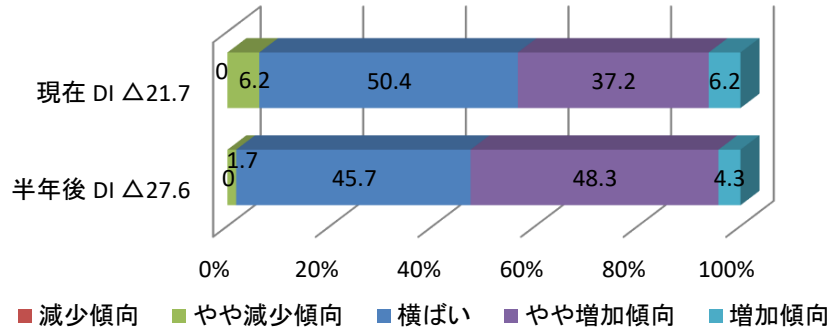
賃貸市場の動向—店舗・事務所の空室率(全県 構成比)



賃貸市場の動向—共同住宅の賃料(全県 構成比)



賃貸市場の動向—共同住宅の空室率(全県 構成比)

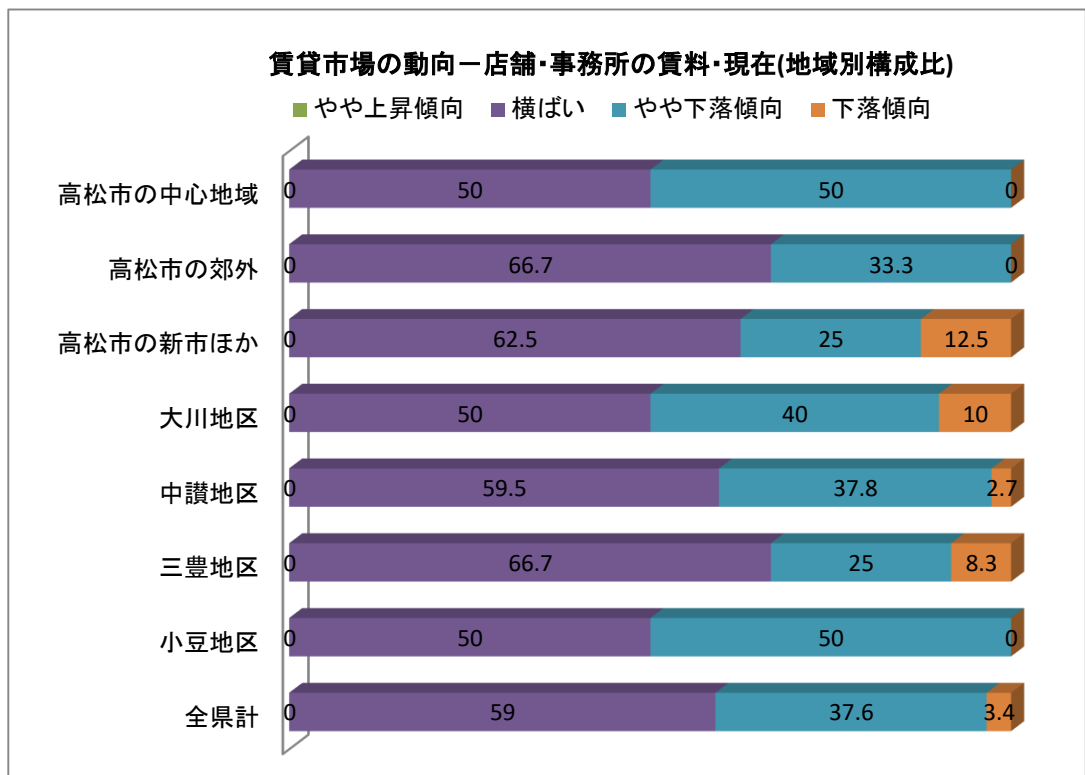


② 地域別の集計結果

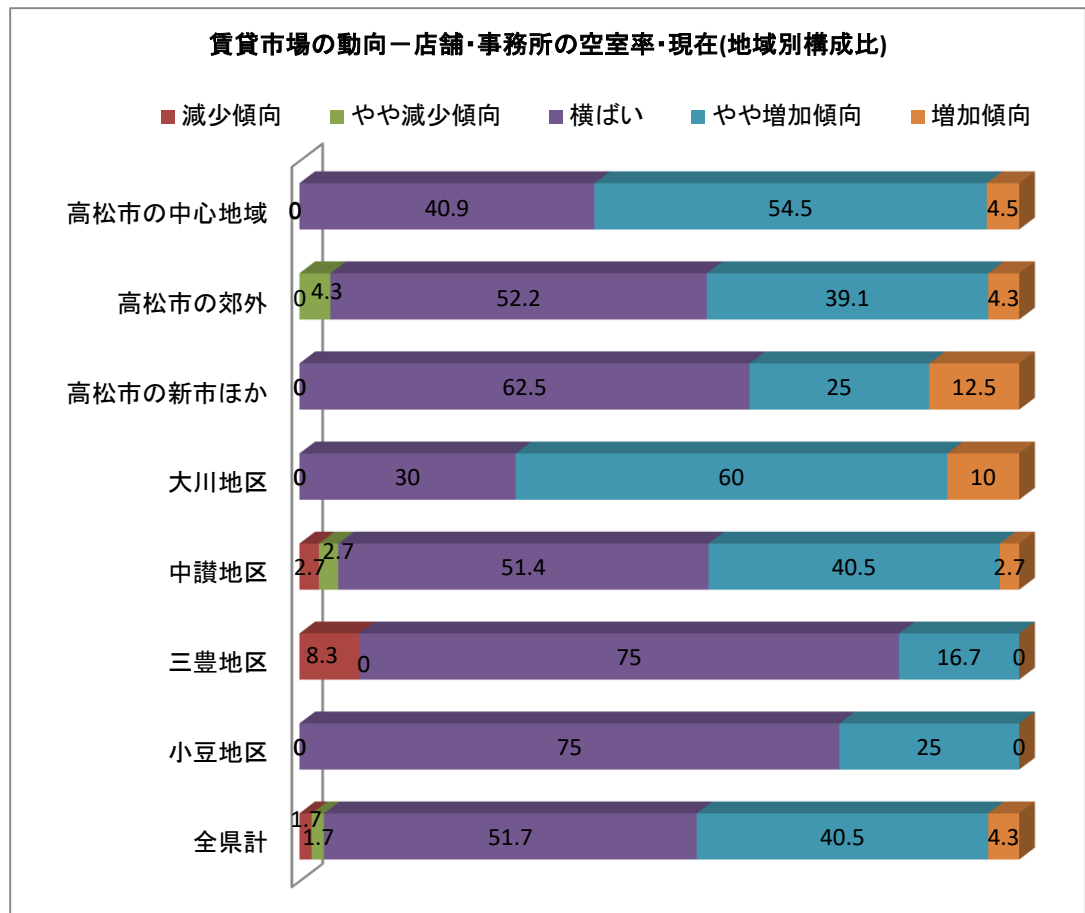
問6 現在の賃料・空室率(半年前と比較)

(1)店舗・事務所

イ.賃料	上昇傾向	やや上昇傾向	横ばい	やや下落傾向	下落傾向	計	DI指数
	高松市の中心地域	0	0	11	11	0	
	0.0 %	0.0 %	50.0 %	50.0 %	0.0 %	100 %	
高松市の郊外	0	0	16	8	0	24	△ 16.7
	0.0 %	0.0 %	66.7 %	33.3 %	0.0 %	100 %	
高松市の新市ほか	0	0	5	2	1	8	△ 25.0
	0.0 %	0.0 %	62.5 %	25.0 %	12.5 %	100 %	
大川地区	0	0	5	4	1	10	△ 30.0
	0.0 %	0.0 %	50.0 %	40.0 %	10.0 %	100 %	
中讃地区	0	0	22	14	1	37	△ 21.6
	0.0 %	0.0 %	59.5 %	37.8 %	2.7 %	100 %	
三豊地区	0	0	8	3	1	12	△ 20.8
	0.0 %	0.0 %	66.7 %	25.0 %	8.3 %	100 %	
小豆地区	0	0	2	2	0	4	△ 25.0
	0.0 %	0.0 %	50.0 %	50.0 %	0.0 %	100 %	
全県計	0	0	69	44	4	117	△ 22.2
	0.0 %	0.0 %	59.0 %	37.6 %	3.4 %	100 %	

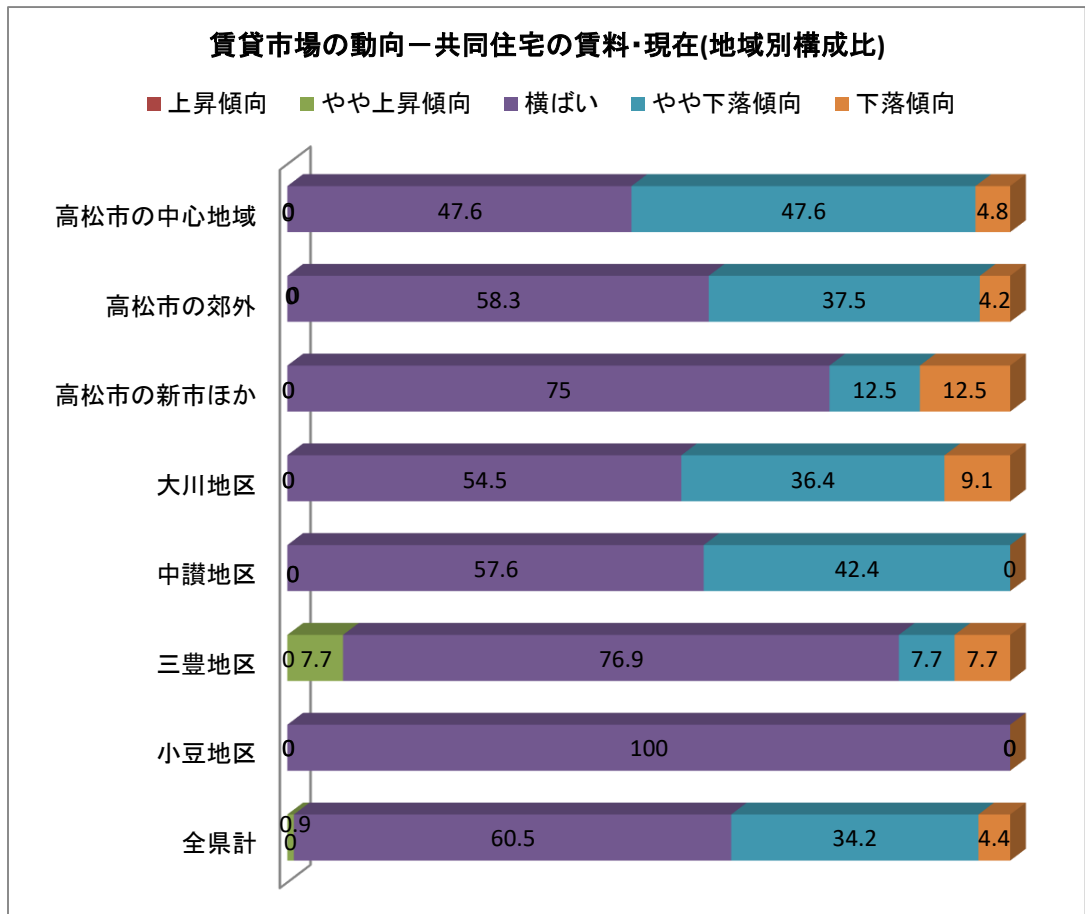


ロ.空室率	減少傾向	やや減少傾向	横ばい	やや増加傾向	増加傾向	計	DI指数
高松市の中心地域	0	0	9	12	1	22	△ 31.8
	0.0 %	0.0 %	40.9 %	54.5 %	4.5 %	100 %	
高松市の郊外	0	1	12	9	1	23	△ 21.7
	0.0 %	4.3 %	52.2 %	39.1 %	4.3 %	100 %	
高松市の新市ほか	0	0	5	2	1	8	△ 25.0
	0.0 %	0.0 %	62.5 %	25.0 %	12.5 %	100 %	
大川地区	0	0	3	6	1	10	△ 40.0
	0.0 %	0.0 %	30.0 %	60.0 %	10.0 %	100 %	
中讃地区	1	1	19	15	1	37	△ 18.9
	2.7 %	2.7 %	51.4 %	40.5 %	2.7 %	100 %	
三豊地区	1	0	9	2	0	12	± 0.0
	8.3 %	0.0 %	75.0 %	16.7 %	0.0 %	100 %	
小豆地区	0	0	3	1	0	4	△ 12.5
	0.0 %	0.0 %	75.0 %	25.0 %	0.0 %	100 %	
全県計	2	2	60	47	5	116	△ 22.0
	1.7 %	1.7 %	51.7 %	40.5 %	4.3 %	100 %	

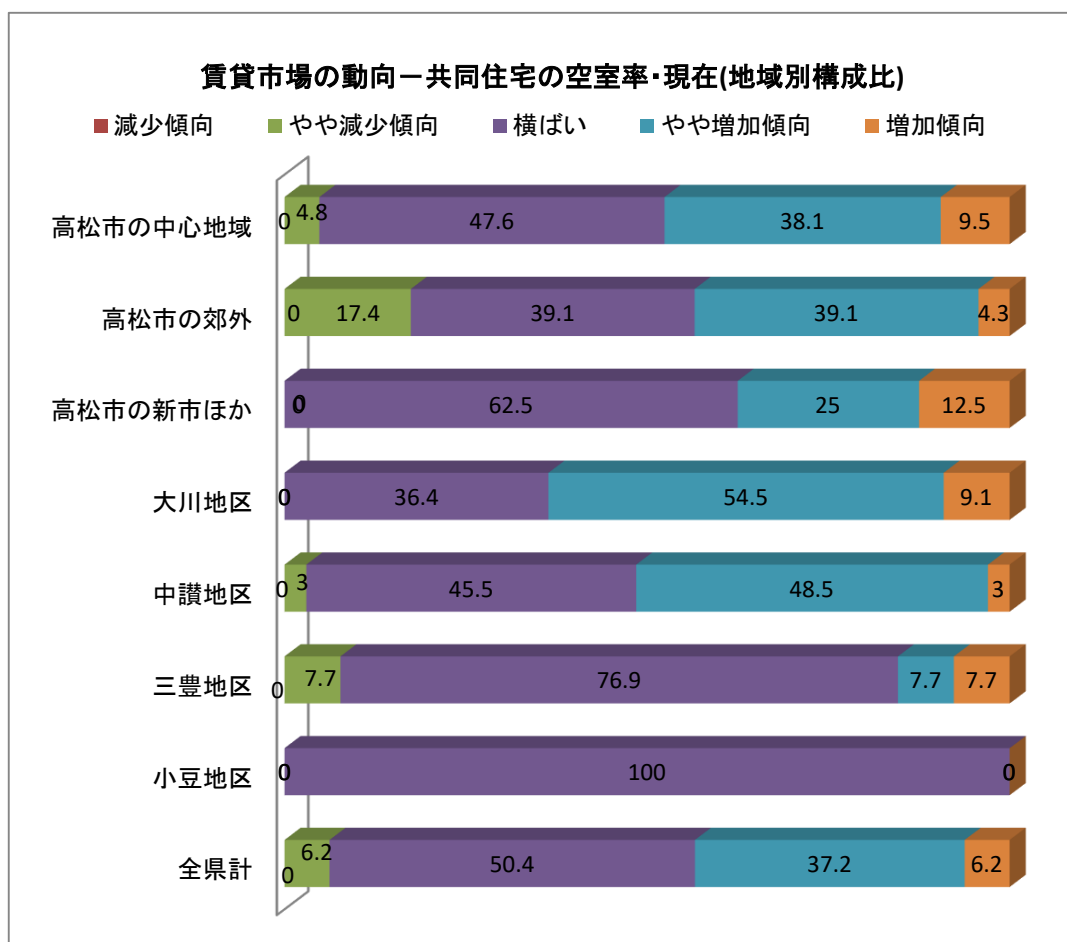


(2)共同住宅

イ.賃料	上昇傾向	やや上昇傾向	横ばい	やや下落傾向	下落傾向	計	DI指数
	高松市の中心地域	0 0.0 %	0 0.0 %	10 47.6 %	10 47.6 %	1 4.8 %	
高松市の郊外	0 0.0 %	0 0.0 %	14 58.3 %	9 37.5 %	1 4.2 %	24 100 %	△ 22.9
高松市の新市ほか	0 0.0 %	0 0.0 %	6 75.0 %	1 12.5 %	1 12.5 %	8 100 %	△ 18.8
大川地区	0 0.0 %	0 0.0 %	6 54.5 %	4 36.4 %	1 9.1 %	11 100 %	△ 27.3
中讃地区	0 0.0 %	0 0.0 %	19 57.6 %	14 42.4 %	0 0.0 %	33 100 %	△ 21.2
三豊地区	0 0.0 %	1 7.7 %	10 76.9 %	1 7.7 %	1 7.7 %	13 100 %	△ 7.7
小豆地区	0 0.0 %	0 0.0 %	4 100.0 %	0 0.0 %	0 0.0 %	4 100 %	± 0.0
全県計	0 0.0 %	1 0.9 %	69 60.5 %	39 34.2 %	5 4.4 %	114 100 %	△ 21.1



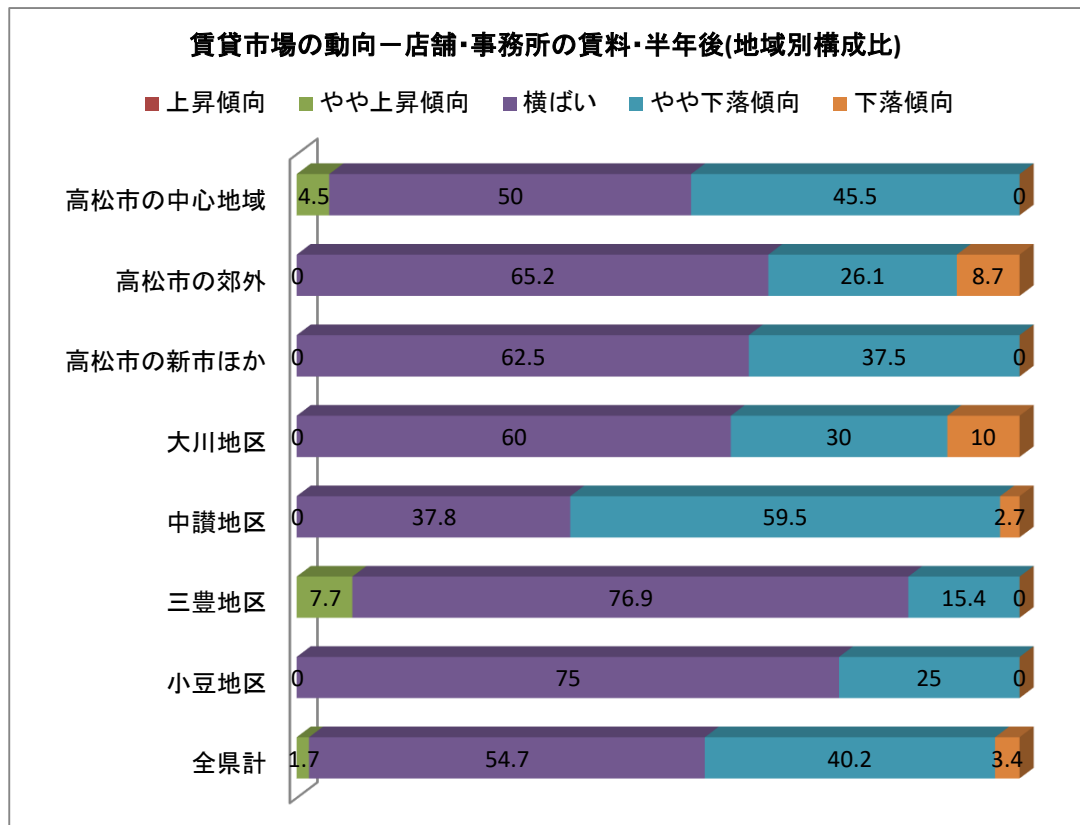
ロ.空室率	減少傾向	やや減少傾向	横ばい	やや増加傾向	増加傾向	計	DI指数
	高松市の中心地域	0 0.0 %	1 4.8 %	10 47.6 %	8 38.1 %	2 9.5 %	
高松市の郊外	0 0.0 %	4 17.4 %	9 39.1 %	9 39.1 %	1 4.3 %	23 100 %	△ 15.2
高松市の新市ほか	0 0.0 %	0 0.0 %	5 62.5 %	2 25.0 %	1 12.5 %	8 100 %	△ 25.0
大川地区	0 0.0 %	0 0.0 %	4 36.4 %	6 54.5 %	1 9.1 %	11 100 %	△ 36.4
中讃地区	0 0.0 %	1 3.0 %	15 45.5 %	16 48.5 %	1 3.0 %	33 100 %	△ 25.8
三豊地区	0 0.0 %	1 7.7 %	10 76.9 %	1 7.7 %	1 7.7 %	13 100 %	△ 7.7
小豆地区	0 0.0 %	0 0.0 %	4 100.0 %	0 0.0 %	0 0.0 %	4 100 %	± 0.0
全県計	0 0.0 %	7 6.2 %	57 50.4 %	42 37.2 %	7 6.2 %	113 100 %	△ 21.7



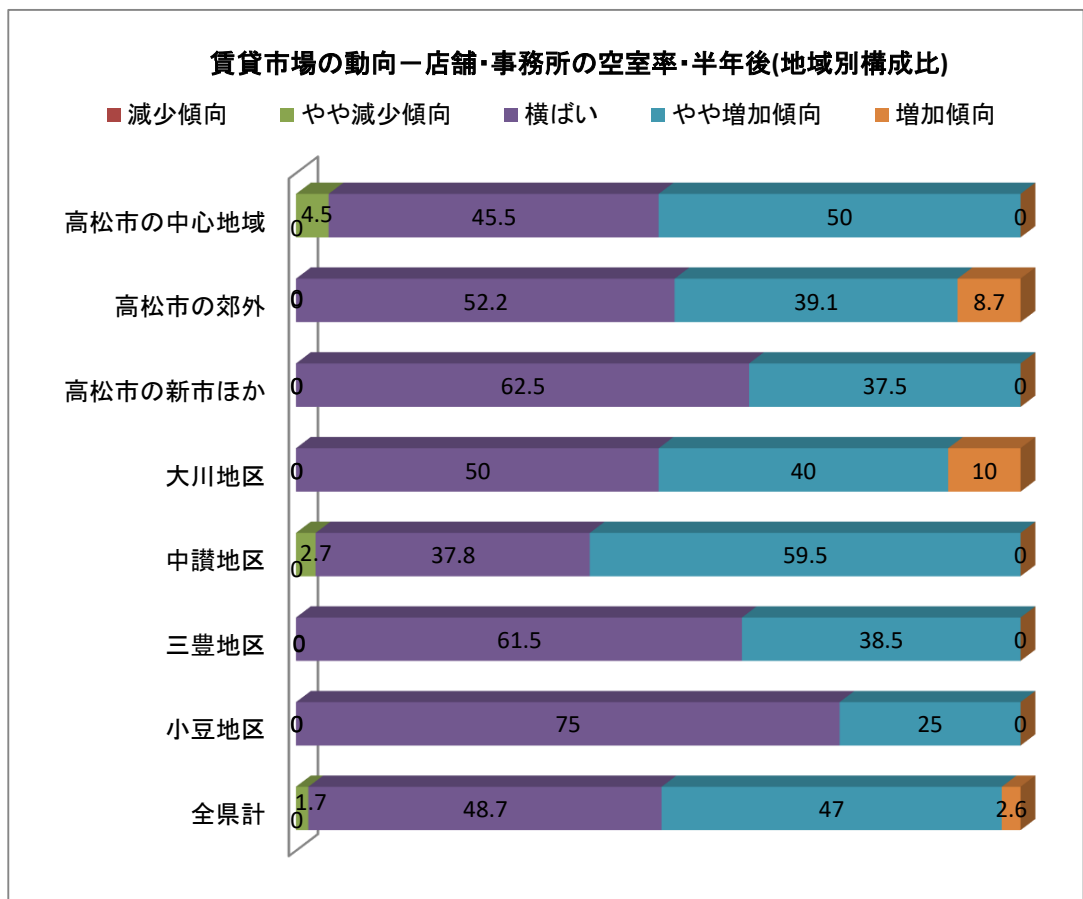
問7 半年後の賃料・空室率(現在と比較)

(1)店舗・事務所

イ.賃料	上昇傾向	やや上昇傾向	横ばい	やや下落傾向	下落傾向	計	DI指数
	高松市の中心地域	0 0.0 %	1 4.5 %	11 50.0 %	10 45.5 %	0 0.0 %	
高松市の郊外	0 0.0 %	0 0.0 %	15 65.2 %	6 26.1 %	2 8.7 %	23 100 %	△ 21.7
高松市の新市ほか	0 0.0 %	0 0.0 %	5 62.5 %	3 37.5 %	0 0.0 %	8 100 %	△ 18.8
大川地区	0 0.0 %	0 0.0 %	6 60.0 %	3 30.0 %	1 10.0 %	10 100 %	△ 25.0
中讃地区	0 0.0 %	0 0.0 %	14 37.8 %	22 59.5 %	1 2.7 %	37 100 %	△ 32.4
三豊地区	0 0.0 %	1 7.7 %	10 76.9 %	2 15.4 %	0 0.0 %	13 100 %	△ 3.8
小豆地区	0 0.0 %	0 0.0 %	3 75.0 %	1 25.0 %	0 0.0 %	4 100 %	△ 12.5
全県計	0 0.0 %	2 1.7 %	64 54.7 %	47 40.2 %	4 3.4 %	117 100 %	△ 22.6

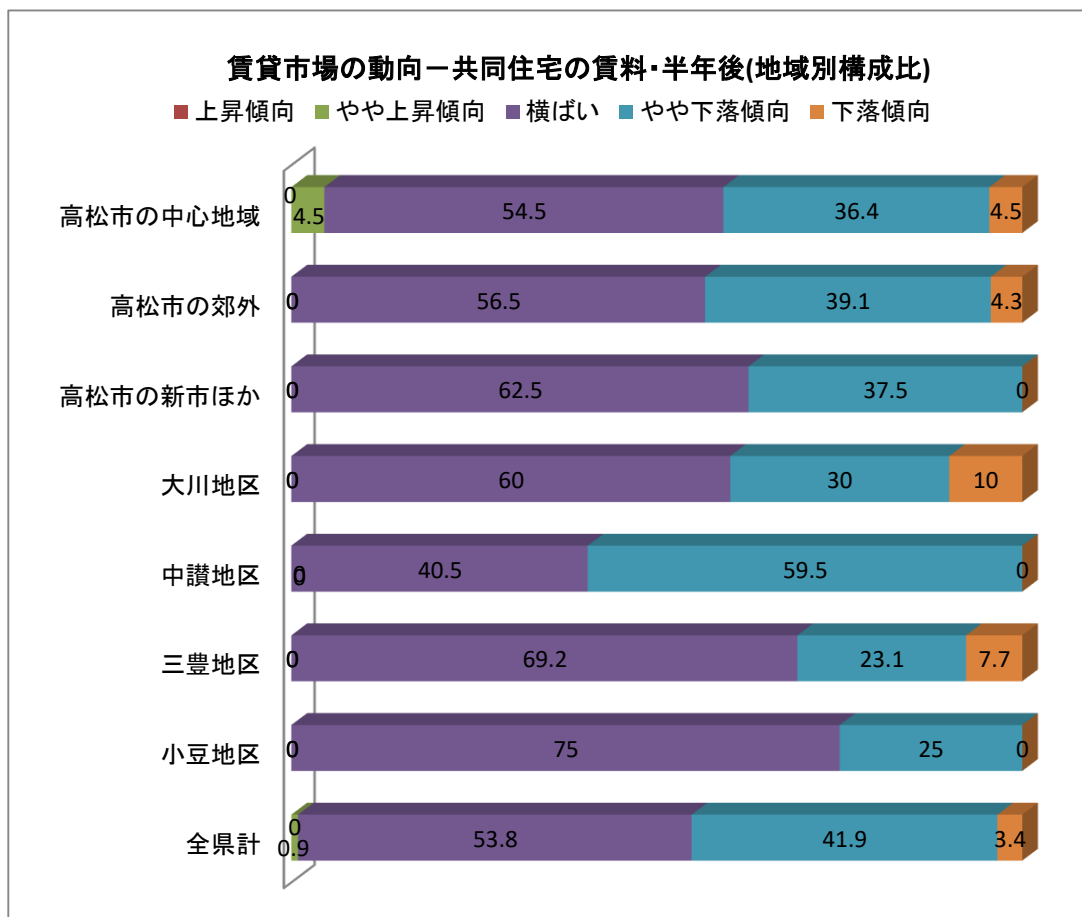


ロ.空室率	DI指数						
	減少傾向	やや減少傾向	横ばい	やや増加傾向	増加傾向	計	
高松市の中心地域	0	1	10	11	0	22	△ 22.7
	0.0 %	4.5 %	45.5 %	50.0 %	0.0 %	100 %	
高松市の郊外	0	0	12	9	2	23	△ 28.3
	0.0 %	0.0 %	52.2 %	39.1 %	8.7 %	100 %	
高松市の新市ほか	0	0	5	3	0	8	△ 18.8
	0.0 %	0.0 %	62.5 %	37.5 %	0.0 %	100 %	
大川地区	0	0	5	4	1	10	△ 30.0
	0.0 %	0.0 %	50.0 %	40.0 %	10.0 %	100 %	
中讃地区	0	1	14	22	0	37	△ 28.4
	0.0 %	2.7 %	37.8 %	59.5 %	0.0 %	100 %	
三豊地区	0	0	8	5	0	13	△ 19.2
	0.0 %	0.0 %	61.5 %	38.5 %	0.0 %	100 %	
小豆地区	0	0	3	1	0	4	△ 12.5
	0.0 %	0.0 %	75.0 %	25.0 %	0.0 %	100 %	
全県計	0	2	57	55	3	117	△ 25.2
	0.0 %	1.7 %	48.7 %	47.0 %	2.6 %	100 %	

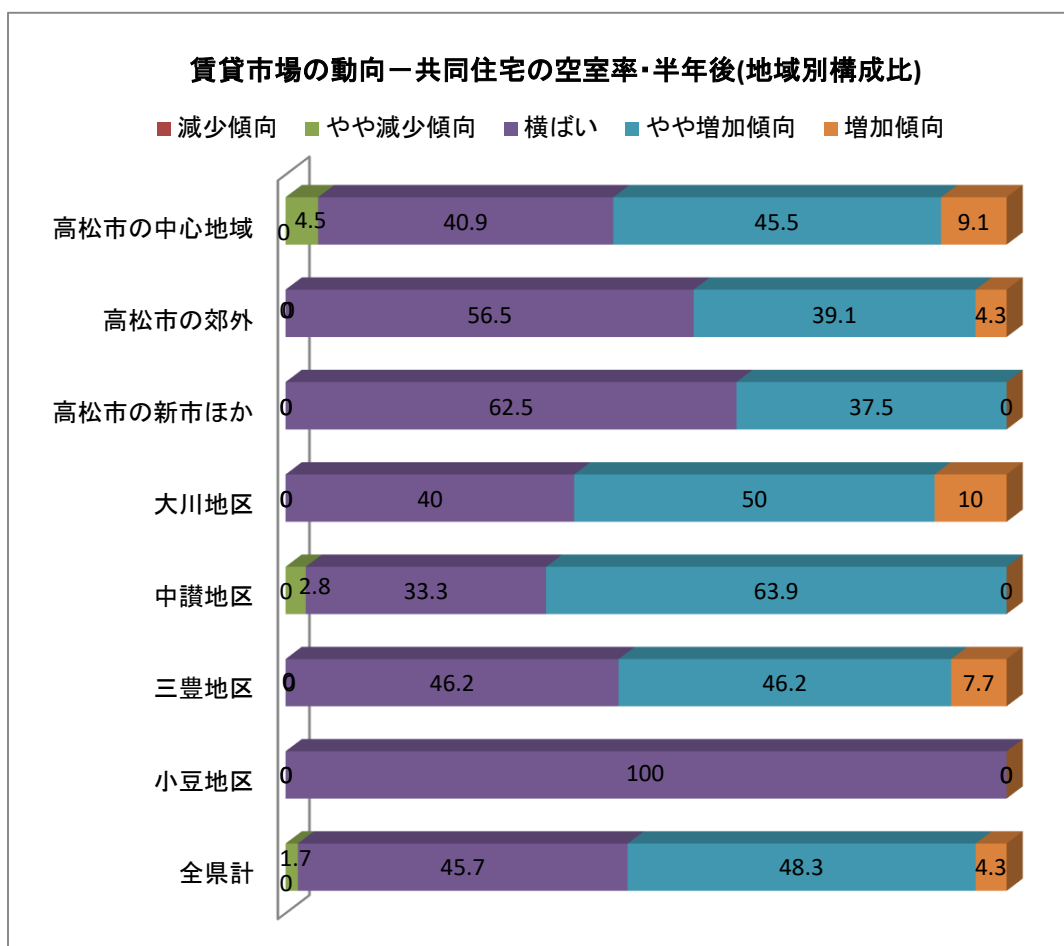


(2)共同住宅

イ.賃料	上昇傾向	やや上昇傾向	横ばい	やや下落傾向	下落傾向	計	DI指数
	高松市の中心地域	0 0.0 %	1 4.5 %	12 54.5 %	8 36.4 %	1 4.5 %	
高松市の郊外	0 0.0 %	0 0.0 %	13 56.5 %	9 39.1 %	1 4.3 %	23 100 %	△ 23.9
高松市の新市ほか	0 0.0 %	0 0.0 %	5 62.5 %	3 37.5 %	0 0.0 %	8 100 %	△ 18.8
大川地区	0 0.0 %	0 0.0 %	6 60.0 %	3 30.0 %	1 10.0 %	10 100 %	△ 25.0
中讃地区	0 0.0 %	0 0.0 %	15 40.5 %	22 59.5 %	0 0.0 %	37 100 %	△ 29.7
三豊地区	0 0.0 %	0 0.0 %	9 69.2 %	3 23.1 %	1 7.7 %	13 100 %	△ 19.2
小豆地区	0 0.0 %	0 0.0 %	3 75.0 %	1 25.0 %	0 0.0 %	4 100 %	△ 12.5
全県計	0 0.0 %	1 0.9 %	63 53.8 %	49 41.9 %	4 3.4 %	117 100 %	△ 23.9

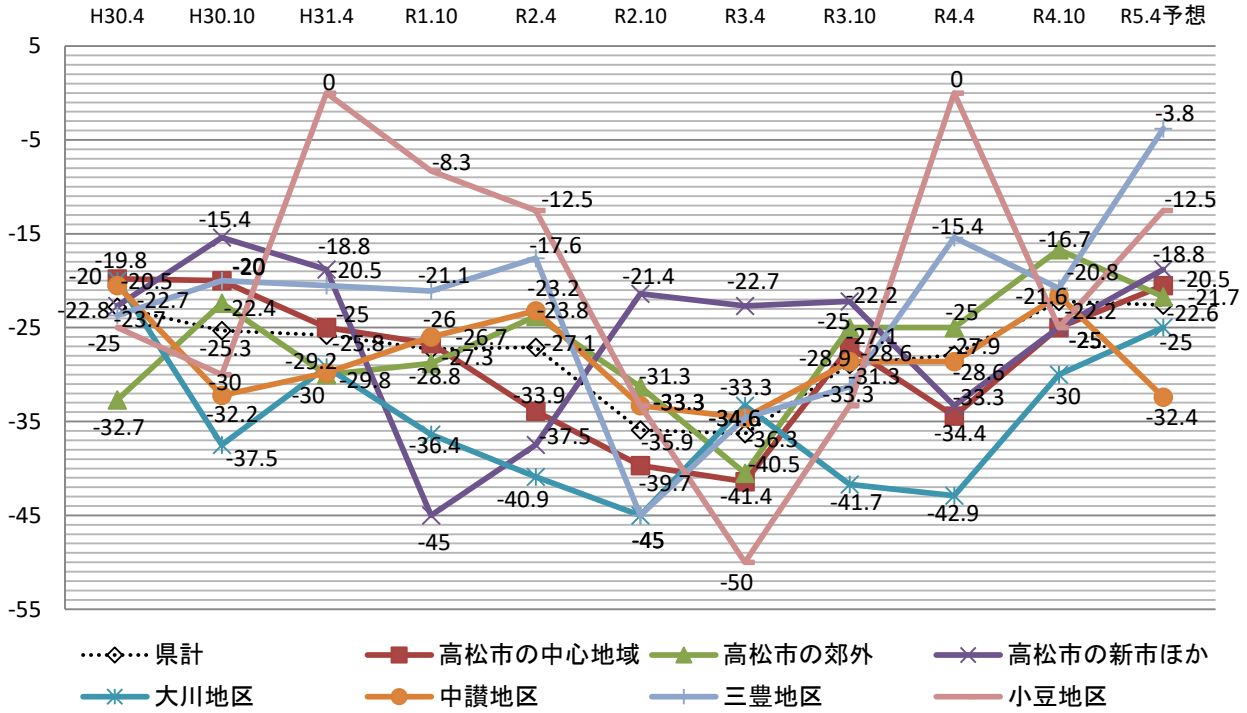


ロ.空室率	減少傾向	やや減少傾向	横ばい	やや増加傾向	増加傾向	計	DI指数
	高松市の中心地域	0 0.0 %	1 4.5 %	9 40.9 %	10 45.5 %	2 9.1 %	
高松市の郊外	0 0.0 %	0 0.0 %	13 56.5 %	9 39.1 %	1 4.3 %	23 100 %	△ 23.9
高松市の新市ほか	0 0.0 %	0 0.0 %	5 62.5 %	3 37.5 %	0 0.0 %	8 100 %	△ 18.8
大川地区	0 0.0 %	0 0.0 %	4 40.0 %	5 50.0 %	1 10.0 %	10 100 %	△ 35.0
中讃地区	0 0.0 %	1 2.8 %	12 33.3 %	23 63.9 %	0 0.0 %	36 100 %	△ 30.6
三豊地区	0 0.0 %	0 0.0 %	6 46.2 %	6 46.2 %	1 7.7 %	13 100 %	△ 30.8
小豆地区	0 0.0 %	0 0.0 %	4 100.0 %	0 0.0 %	0 0.0 %	4 100 %	± 0.0
全県計	0 0.0 %	2 1.7 %	53 45.7 %	56 48.3 %	5 4.3 %	116 100 %	△ 27.6

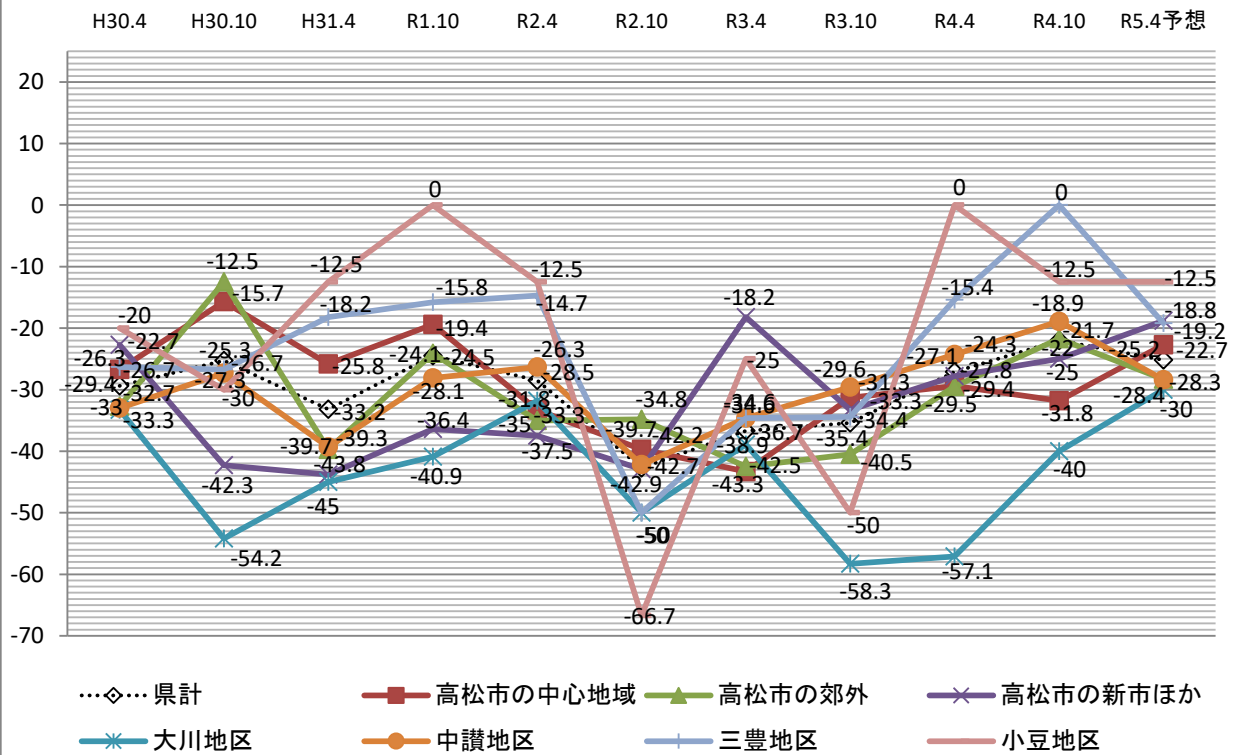


※賃貸市場D I 指標の推移（区分別総括）

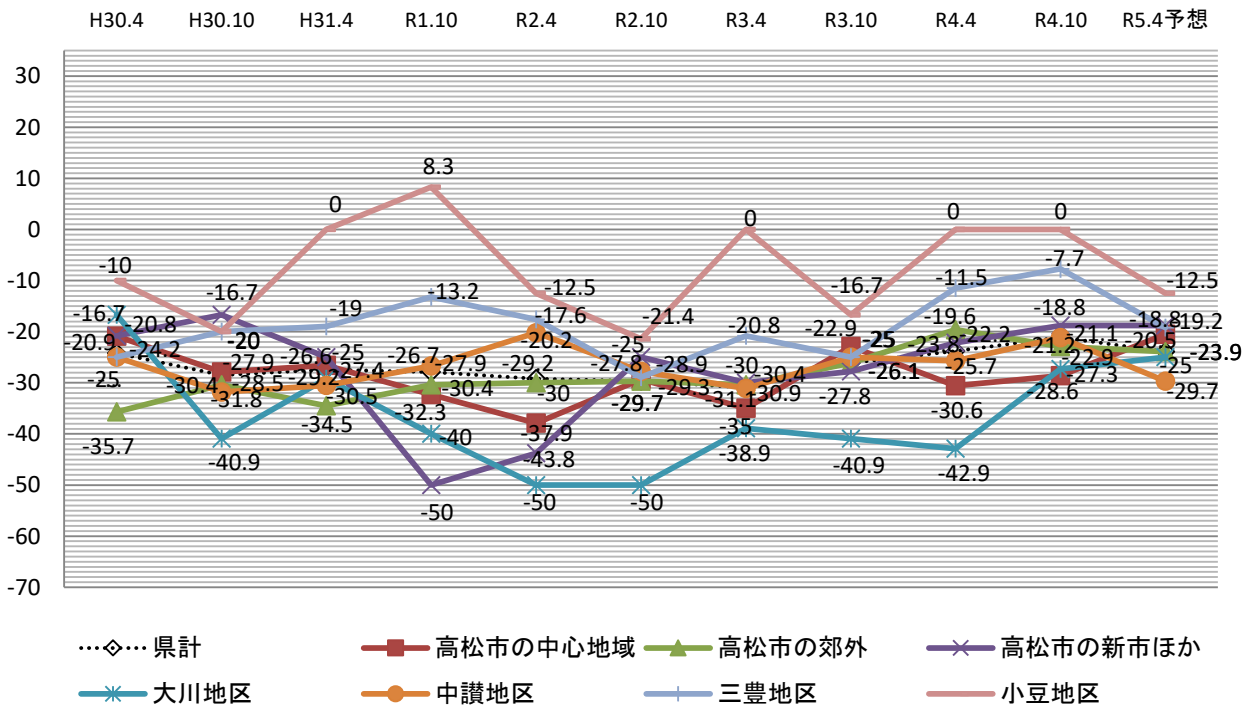
賃貸市場DI 店舗・事務所(賃料)



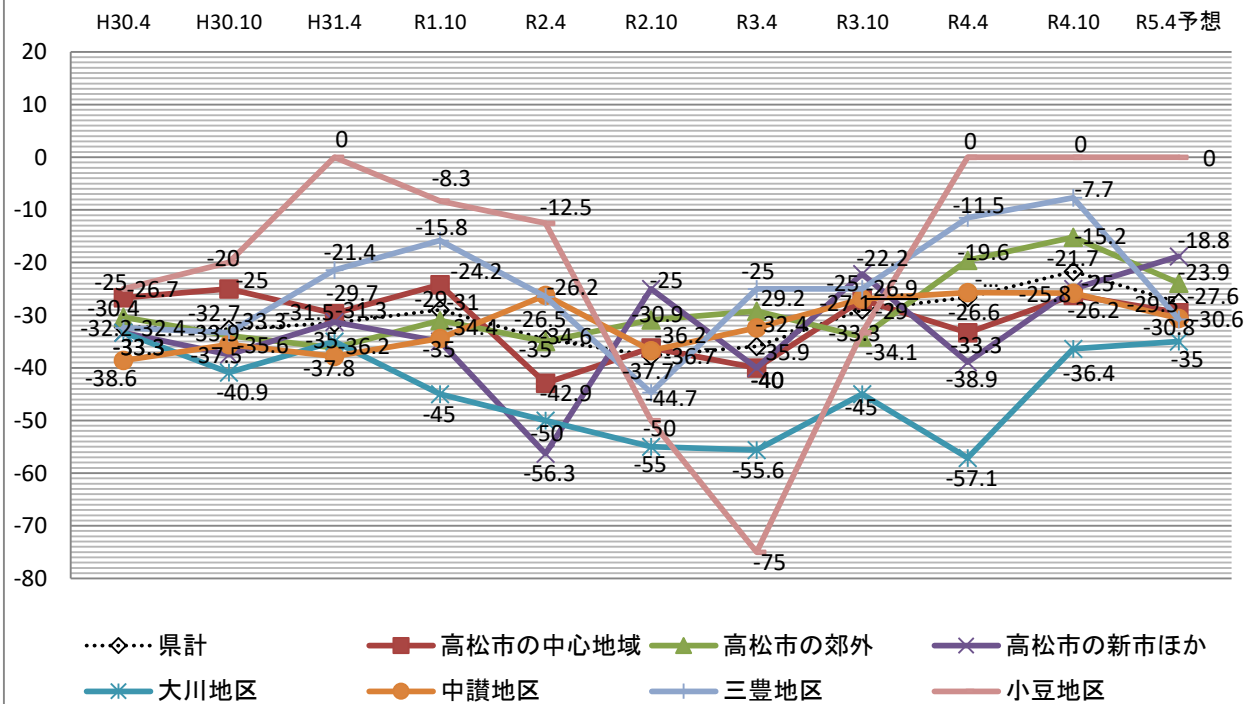
賃貸市場DI 店舗・事務所(空室率)



賃貸市場DI 共同住宅(賃料)



賃貸市場DI 共同住宅(空室率)



香川県の不動産市況に関するアンケート調査(第23回 令和4年10月1日時点)

ご回答は次項の回答用紙にご記入のうえ、回答用紙1枚のみを10月7日(金)までに宅建協会事務局あてFAX(087-823-1212)にてご返送いただきますようお願いいたします。

【ご質問内容】

問1. 以下の7つのエリアの中から、**最も取り扱い件数の多い地域を1つだけ**選んで、回答用紙にご記入ください。(営業エリアが複数ある場合でも、問2以下の回答対象エリアを**1つだけ**選んでください。)

1. 高松市中心部及びその周辺(東はレインボー通り周辺、西は香東川、南は東バイパスまでの範囲)
2. 高松市の郊外(上記中心部以外の合併前旧高松市の範囲)
3. 高松市のうち新市(旧庵治町、牟礼町、香川町、香南町、塩江町、国分寺町) 及び 三木町、直島町
4. 大川地区(東かがわ市、さぬき市)
5. 中讃地区(丸亀市、坂出市、善通寺市、宇多津町、綾川町、琴平町、多度津町、まんのう町)
6. 三豊地区(観音寺市、三豊市)
7. 小豆地区(土庄町、小豆島町)

以下の質問は、問1で回答された地域の状況について、お答えください。

問2. 現在(令和4年10月1日現在、以下同じ)の地価の動向は、半年前(令和4年4月1日、以下同じ。)と比較して、どのように感じておられますか？

「(1)住宅地」、「(2)商業地」について、回答用紙の該当するもの1つに○を付けてください。

問3. 半年後(令和5年4月1日、以下同じ)の地価動向は、現在と比較して、どうなると予想されますか？

「(1)住宅地」、「(2)商業地」について、回答用紙の該当するもの1つに○を付けてください。

問4. 現在、貴社の取り扱い件数(成約件数や引き合いの状況)は、半年前と比較して、どのように感じておられますか？

「イ.土地・分譲地・建売」、「ロ.マンション販売」、「ハ.仲介件数」の該当するものについて、わかる範囲で回答用紙にお答えください。

問5. 半年後の貴社の取り扱い件数(成約件数や引き合いの状況)は、現在と比較して、どうなると予想されますか？

「イ.土地・分譲地・建売」、「ロ.マンション販売」、「ハ.仲介件数」の該当するものについて、わかる範囲で回答用紙にお答えください。

問6. 現在の賃料・空室率は、半年前と比較して、どのように感じておられますか？

(1)店舗・事務所の「イ.賃料」、「ロ.空室率」、(2)共同住宅の「イ.賃料」、「ロ.空室率」について、回答用紙の該当するもの1つに○を付けてください。

問7. 半年後の賃料・空室率は、現在と比較して、どうなると予想されますか？

(1)店舗・事務所の「イ.賃料」、「ロ.空室率」、(2)共同住宅の「イ.賃料」、「ロ.空室率」について、回答用紙の該当するもの1つに○を付けてください。

問8. 自由意見欄(人気・不振エリア、コロナ禍での不動産取引及び影響、建設費の動向、空き家問題、土砂法警戒区域やハザードマップの影響、その他最近のトピックについてなど、ご自由にご意見をお書きください。)

香川県の不動産市況に関するアンケート調査・回答用紙(第23回 令和4年10月1日時点)

※この用紙のみをFAXでご返送ください。

問1.最も取扱件数の多い地域 ※問2以下のご回答対象地域を1つだけ選んで、番号に○を付けてください。

1.高松市中心部及びその周辺	2.高松市の郊外	3.高松市のうち新市	4.大川地区	5.中讃地区	6.三豊地区	7.小豆地区
----------------	----------	------------	--------	--------	--------	--------

問2.現在の地価の動向(半年前と比較して) ※該当する1~5の数字に○を1つ付けてください。以下同じ。

(1)住宅地	1.上昇傾向	2.やや上昇傾向	3.横ばい	4.やや下落傾向	5.下落傾向
(2)商業地	1.上昇傾向	2.やや上昇傾向	3.横ばい	4.やや下落傾向	5.下落傾向

問3.将来の地価の動向予想(現在と比較して)

(1)住宅地	1.上昇傾向	2.やや上昇傾向	3.横ばい	4.やや下落傾向	5.下落傾向
(2)商業地	1.上昇傾向	2.やや上昇傾向	3.横ばい	4.やや下落傾向	5.下落傾向

問4.現在の貴社の取り扱い件数(半年前と比較して)

イ.土地・分譲地等	1.増加傾向	2.やや増加傾向	3.横ばい	4.やや減少傾向	5.減少傾向
ロ.マンション販売	1.増加傾向	2.やや増加傾向	3.横ばい	4.やや減少傾向	5.減少傾向
ハ.仲介件数	1.増加傾向	2.やや増加傾向	3.横ばい	4.やや減少傾向	5.減少傾向

問5.半年後の貴社の取り扱い件数予想(現在と比較して)

イ.土地・分譲地等	1.増加傾向	2.やや増加傾向	3.横ばい	4.やや減少傾向	5.減少傾向
ロ.マンション販売	1.増加傾向	2.やや増加傾向	3.横ばい	4.やや減少傾向	5.減少傾向
ハ.仲介件数	1.増加傾向	2.やや増加傾向	3.横ばい	4.やや減少傾向	5.減少傾向

問6.現在の賃料・空室率(半年前と比較して)

(1)店舗・事務所

イ.賃料	1.上昇傾向	2.やや上昇傾向	3.横ばい	4.やや下落傾向	5.下落傾向
ロ.空室率	1.減少傾向	2.やや減少傾向	3.横ばい	4.やや増加傾向	5.増加傾向

(2)共同住宅

イ.賃料	1.上昇傾向	2.やや上昇傾向	3.横ばい	4.やや下落傾向	5.下落傾向
ロ.空室率	1.減少傾向	2.やや減少傾向	3.横ばい	4.やや増加傾向	5.増加傾向

問7.半年後の賃料・空室率予想(現在と比較して)

(1)店舗・事務所

イ.賃料	1.上昇傾向	2.やや上昇傾向	3.横ばい	4.やや下落傾向	5.下落傾向
ロ.空室率	1.減少傾向	2.やや減少傾向	3.横ばい	4.やや増加傾向	5.増加傾向

(2)共同住宅

イ.賃料	1.上昇傾向	2.やや上昇傾向	3.横ばい	4.やや下落傾向	5.下落傾向
ロ.空室率	1.減少傾向	2.やや減少傾向	3.横ばい	4.やや増加傾向	5.増加傾向

問8.自由意見欄(人気・不振エリア、コロナ禍での不動産取引及び影響、建設費の動向、空き家問題、土砂法警戒区域やハザードマップの影響、その他最近のトピックについてなど、ご自由にお書き下さい。)

お忙しいところ、ご協力ありがとうございました。お手数をおかけいたしますが、**10月7日(金)までに**この回答用紙を宅建協会事務局あて**FAX(087-823-1212)**にてご返送いただきますようお願いいたします。